

志摩市商工会『経営発達支援計画事業』景気動向等に関する アンケート調査結果報告書

平成 29 年 2 月

志摩市商工会

アンケート調査実施方法等

●調査日時等

★調査日時：平成 28 年 9 月 27 日から 10 月 20 日までの間

★調査業種：建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・売業、金融・保険業、不動産業、飲食店・宿泊業、医療・福祉、教育・学習支援業、その他【農業、林業、漁業、郵便業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、娯楽業、生活関連サービス業、複合サービス業、サービス業（他に分類されないもの）】

計 2231 社

★調査方法：志摩市内の全小規模事業者に対し郵送にて、小規模事業者の業況感等についてのアンケート調査を実施。

★アンケート回答数：465 通（1 事業者は白紙回答であったため除外。）

●調査の内容

アンケート調査結果の構成比は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%と一致しない場合がある。

アンケート調査結果

業種

アンケート回答事業者数 465（信頼度 95%）の最も多かったのが、“卸売・小売業”の 26%、続いて“その他”21%、“飲食店・宿泊業”16%、“建設業”15%、“製造業”10%となっており、その他の業種は全て一桁台の構成比である。

表 1 アンケート回答業者の業種数

業 種	回答数	構成比
卸売・小売業	120	26%
その他	98	21%
飲食店・宿泊業	74	16%
建設業	70	15%
製造業	47	10%
不動産業	14	3%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	3%
運輸業	8	2%
医療・福祉	6	1%
教育・学習支援業	6	1%
不明	4	1%
金融・保険業	3	1%
情報通信業	2	0%
計	465	100%

企業形態

●企業形態順位

“個人企業” 67.3%→“有限会社” 18%→“株式会社” 10.1%→“その他法人” 2.4%→“不明” 1.9%。

★志摩市の小規模事業者 2,118 社のうち、個人企業が 7 割近くを占め、法人は 3 割程度。

表 2 企業形態

企業形態	回答数	構成比
株式会社	47	10.1%
有限会社	85	18.3%
その他法人	11	2.4%
法人小計	143	30.8%
個人企業	313	67.3%
不明	9	1.9%
計	465	100.0%

法人の資本金

●法人 143 社の資本金の規模

“100 万～500 万未満” 43.4%→“500 万～1,000 万未満” 及び “1,000 万以上” 23.8%→“100 万未満” 4.9%→“不明” 4.2%。

表 3 法人の資本金の規模

企業形態	回答数	100 万円未満	100 万円～500 万円未満	500 万円～1,000 万円未満	1,000 万円以上	不明
株式会社	47	6.4%	23.4%	12.8%	57.4%	0.0%
有限会社	85	1.2%	58.8%	31.8%	8.2%	0.0%
その他法人	11	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%	54.5%
法人計	143	4.9%	43.4%	23.8%	23.8%	4.2%

企業創業年及び法人設立年

●企業創業年

“1955～1975 年” の 30.8%→“1990 年代以降” 26.0%、 “1976～1990 年” 16.1%→“1955 年代以前” 15.5%→“不明” 11.6%。

表 4 企業創設年

企業形態	1955 年代以前	1955～1975 年	1976～1990 年	1990 年代以降	不明
株式会社	17.0%	27.7%	17.0%	31.9%	6.4%
有限会社	18.8%	31.8%	16.5%	25.9%	7.1%
その他法人	36.4%	27.3%	0.0%	36.4%	0.0%
個人企業	13.7%	31.9%	16.6%	25.6%	12.1%
不明	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	77.8%
全体	15.5%	30.8%	16.1%	26.0%	11.6%

★高度経済成長期（1955～1975 年）に創設された企業が多く、続いて会社設立の規制緩和による “1990 年代以降” が多い。

正社員数

●全体平均：1社あたり3.1人。（“不明”分を除く）

◆従業員規模別の順位

“2-3人”の38.9%→“1人”35.3%→“4-5人”8.4%→“不明”6.2%、“10人以上”5.2%→“6-7人”3.9%→“8-9人”2.2%。

★1人” + “2～3人” = 74.2%→小規模の従業員数の企業が約4分の3を占る。

◆この従業員の内、家族・親族

全体平均：1社あたり1.7人。（“不明”分を除く）

表 5-1 企業形態別正規従業員

企業形態	企業数	従業員数	正規従業員数							
			1人	2-3人	4-5人	6-7人	8-9人	10人以上	不明	平均(人)
個人企業	313	521	44.7%	40.3%	5.1%	1.6%	0.6%	0.3%	7.3%	1.7
株式会社	47	429	6.4%	25.5%	17.0%	14.9%	6.4%	27.7%	2.1%	9.1
有限会社	85	427	15.3%	43.5%	16.5%	7.1%	5.9%	11.8%	0.0%	5.0
その他法人	11	19	45.5%	45.5%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7
不明	9	-								
計	465	1396	35.3%	38.9%	8.4%	3.9%	2.2%	5.2%	6.2%	3.2

表 5-2 企業形態別正規従業員うち家族・親族

企業形態	企業数	従業員数	正規従業員のうち家族・親族数								
			0 人	1 人	2-3 人	4-5 人	6-7 人	8-9 人	10 人以上	不明	平均
個人企業	313	417	3. 8%	61. 0%	28. 4%	2. 2%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	4. 5%	1. 3
株式会社	47	116	4. 3%	34. 0%	40. 4%	12. 8%	4. 3%	0. 0%	2. 1%	2. 1%	2. 5
有限会社	85	204	2. 4%	32. 9%	47. 1%	14. 1%	2. 4%	0. 0%	1. 2%	0. 0%	2. 4
その他法人	11	16	0. 0%	72. 7%	27. 3%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	1. 5
不明	9	－									
計	465	753	3. 4%	52. 7%	32. 9%	5. 4%	0. 9%	0. 0%	0. 4%	4. 3%	1. 7

非正社員数

●全体平均：1社あたり1.6人（“不明”分を除く）

◆従業員数規模別の順位

“0人”51.4%→“1人”19.6%→“2-3人”11.2%→“不明”7.5%→“4-5人”3.4%→“6-7人”3.2%→“10人以上”2.8%→“8-9人”0.9%。☆“0人”が企業全体構成比の過半数を超えている。

表 6-1 企業形態別非正規従業員

企業形態	企業数	従業員数	非正規従業員数								
			0人	1人	2-3人	4-5人	6-7人	8-9人	10人以上	不明	平均人
個人企業	313	285	55.9%	20.4%	9.9%	1.9%	2.9%	0.0%	0.3%	8.6%	0.9
株式会社	47	214	34.0%	19.1%	12.8%	10.6%	2.1%	4.3%	14.9%	2.1%	4.6
有限会社	85	206	45.9%	17.6%	15.3%	5.9%	5.9%	2.4%	5.9%	1.2%	2.4
その他法人	11	7	54.5%	27.3%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6
不明	9	-									
計	465	712	51.4%	19.6%	11.2%	3.4%	3.2%	0.9%	2.8%	7.5%	1.6

表 6-2 企業形態別非正規従業員（うち家族・親族）

企業形態	企業数	従業員数	非正規従業員正従業員のうち家族・親族数								平均人
			0人	1人	2-3人	4-5人	6-7人	8-9人	10人以上	不明	
個人企業	313	73	74.4%	12.5%	4.2%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	8.6%	0.2
株式会社	47	15	78.7%	12.8%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.3
有限会社	85	46	78.8%	14.1%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	1.2%	0.5
その他法人	11	2	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2
不明	9	-									
計	465	136	75.1%	12.7%	4.3%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	7.5%	0.3

事業承継・廃業

●「事業承継・廃業」に関する意向の順位

“未定” 34.0%→“事業を廃業予定” 29.5%→“後継者（親族以外も含む）はいる” 25.4%→“親族以外でも、希望者がいれば事業承継したい” 7.5%→“不明” 3.0%、“合併等をしてでも事業継承したい” 0.4%。

★今後の経済情勢によっては、“未定”の34.0%→“事業を廃業予定”となる可能性大。

表 7 事業承継・廃業意向

項 目	回答数	構成比
未定	158	34.0%
事業を廃業予定	137	29.5%
後継者（親族以外も含む）はいる	118	25.4%
親族以外でも、希望者がいれば事業承継したい	35	7.5%
不明	15	3.0%
合併等をしてでも事業継承したい	2	0.4%
計	464	

廃業予定理由

●廃業予定の理由の順位

“事業に将来性がない”の52.9%→“適切な後継者がいない”31.6%→“親族以外には、事業継承させたくない”7.7%→“その他”5.8%→“不明”1.3%→“合併等を行うことが可能な相手が存在しない”0.6%。

表 8 廃業予定理由（複数回答可）

理 由	回答数	構成比
事業に将来性がない	82	52.9%
適切な後継者がいない	49	31.6%
親族以外には、事業継承させたくない	12	7.7%
その他	9	5.8%
不明	2	1.3%
合併等を行うことが可能な相手が存在しない	1	0.6%
計	155	100.0%

●廃業予定企業の業種別順位

“卸売・小売業”28.5%が→“その他”21.9%→“建設業”及び“飲食店・宿泊業”13.9%→“製造業”12.4%。

★その他の業種は全て一桁台の構成比。

表 9 業種別廃業予定企業

業 種	回答数	構成比
卸売・小売業	39	28.5%
その他	30	21.9%
建設業	19	13.9%
飲食店・宿泊業	19	13.9%
製造業	17	12.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	6	4.4%
情報通信業	2	1.5%
不動産業	2	1.5%
運輸業	1	0.7%
医療・福祉	1	0.7%
教育・学習支援業	1	0.7%
金融・保険業	0	0.0%
計	137	100.0%

後継者

●後継者が存在する企業全体に占める構成比（絶対数の多い個人企業が多くなっている）

“個人企業” 49.6%（同種企業形態に占める構成比は 18.5%、以下同じ）→“有限会社” 29.1%（28.2%）

→“株式会社” 20.5%（72.3%）→“その他法人” 0.9%（13.1%）。

★この企業数を企業形態別に廃業予定企業（表 9）と比較すると、全体で 19 企業がマイナス。

★株式会社が+22 企業および有限会社が+23 企業）、その他法人が-2 企業、個人企業が-58 企業と株式会社及び有限会社は後継者が存在する企業がプラスであるが、その他法人及び個人企業はマイナスである。

表 10 企業形態別後継者が存在する企業

企業形態	後継者のいる企業数	後継者のいる企業全体に占める構成比	後継者のいる同種企業形態に占める構成比
株式会社	24	20.5%	72.3%
有限会社	34	29.1%	28.2%
その他法人	1	0.9%	0.9%
個人企業	58	49.6%	37.1%
計	117	100.0%	29.5%

表 11 業種別後継者が存在する企業

業 種	回答数	構成比
卸売・小売業	28	23.7%
その他	25	22.0%
建設業	23	19.5%
飲食店・宿泊業	16	13.6%
製造業	14	11.9%
不動産業	5	4.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	3	2.5%
運輸業	2	1.7%
教育・学習支援業	1	0.8%
情報通信業	0	0.0%
金融・保険業	0	0.0%
医療・福祉	0	0.0%
回答数	117	100.0%

志摩市地域経済の景気感

●志摩市全体

“悪い” 37.6%→“どちらともいえない” 32.9%→“やや悪い” 21.5%、“不明” 4.3%、“やや良い” 3.4%、“良い” 0.2%。

★「景気が良い」（“良い”＋“やや良い”）3.6%。

★「景気が悪い」（“悪い”＋“やや悪い”）59.1%＝約6割にも達する評価

表 12 志摩市地域経済の景気感

地域区分	回答数	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	不明
阿児町	194	0.0%	4.7%	35.2%	24.9%	30.6%	5.2%
大王町	71	0.0%	4.2%	32.4%	21.1%	40.8%	1.4%
志摩町	85	0.0%	2.4%	29.4%	12.9%	51.8%	3.5%
浜島町	36	0.0%	0.0%	36.1%	19.4%	36.1%	8.3%
磯部町	71	0.0%	1.4%	30.6%	25.0%	38.9%	2.8%
不明	8	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%
志摩市全体	465	0.2%	3.4%	32.9%	21.5%	37.6%	4.3%

“やや悪い” 及び “悪い” と答えた理由

●“悪い” 及び “やや悪い” と回答した自由回答

阿児町 80 件、大王町 31 件、志摩町 18 件、浜島町 12 件、磯部町 22 件、合計 163 件。

★「人口減と高齢化」「若者の流出」「少子化」「公共事業の削減」「消費者の節約傾向」及び「大型店の進出」や「チェーン店の進出」といった企業の外部環境の変化に理由を求める意見が多い。一部、「努力不足」「協力不足」「改善の方向性がわからない」など企業の内部環境に着目する意見もある。

表 13 志摩市地域経済の景気感について“悪い” 及び “やや悪い” と回答した理由

地域区分	具体的な理由
阿児町	1. 8 月 9 月とも客数が少なかった。 2. 悪天候が続き漁にいけない。 3. あまり良い話題がない。 4. 以前に比べ外からの人出が減ったようです。 5. イタリア料理の当店では、ターゲットを若者と主婦としているが、地元の客だけでは経営が成り立たない。地元の客はランチタイムのみの来店が多く、利益率も低く、志摩市の人口だけでは、小さいパイの取り合いとなってしまう。ディナータイムの客が無く、志摩市中心部の鵜方の一部の店舗しか経営が成り立っていない。 6. 今までと違って全ての業種の人たちに笑顔がなくなった。 7. 売上がどんどん落ちている。 8. 売上が伸びない。若い人が県外に出て行くので人材不足。地場産業が不振で、地域を担っていく産業がなくなっている。 9. 大型店ができたので。 10. 大型店の進出で経営が厳しい。 11. 大手企業の一人勝ちのような状況。バブルの頃が忘れられず、地道な努力に欠ける業者ばかりで、暖かみのない地域になってしまった。 12. 大手住宅メーカーの建物ばかりで、地元大工の建築工事が少ない。 13. 各個人・事業の協調性と協力が少ない。 14. 過疎化が進んでいるのに、人口比率に対してお店の数が多すぎる。 15. 観光客がわんさか来る目玉がない。熱海のように積極的にマスコミ、テレビ等をロケーション地で誘致し、

地域区分	具体的な理由
	V字回復している観光地を見習わなければいけない。 16. 観光客もあまり増えていないので、市内の業者も景気が悪い。 17. 客が大型店に行って客が来ない。 18. 客がすくない。 19. 客数が減っている。来店する間隔が長くなっている。 20. 客数の減少。 21. 客はランチに関しては食べたいものよりも、値段を優先していると思われる。 22. 業界全体が下降している。 23. 業者間で良いと悪いの格差が激しい。 24. 景気が悪いので外での支出を控えているように思う。 25. 小売りは閉塞感が漂っている。 26. お客さんの高齢化のため、消費能力が減少。 27. 魚が釣れない。週末の天候が悪いことが多い。客層は40～70代男性が主体だが仕事 28. 景気のあまり良い話は聞かない。 29. サミット後、お客が増えたのだろうか？ 30. サミット期間中の休業期間が長く、客が他地域に流れてしまった。 31. サミット後、小さな宿は暇だと思ふ。安価な温泉場だけ賑わっている。 32. サミット後、観光客が増えている。 33. サミット後の建設業関連の仕事がなくなり、運送面の仕事も少なくなった。 34. サミットで少々志摩市のアピールはできたと思うが、建設業の下請けにはあまり関係が無かった。 35. サミットの後には悪い。限られたホテルや旅館は宿泊の予約も多いが、他にはあまり宿泊していないし、日帰り観光客も多い。 36. 市内で自営業ができる仕事量が少ない。 37. 市内の仕事がない。 38. 志摩市役所からの仕事が減少している。 39. 志摩市の人口減少が続き、外部からの収入（特産品販売、観光収入、企業の新たな収入）が見込めない状況で、市内で消費された時のお金が落ちているだけである。 40. 市民の平均年収をみたらわかると思います。 41. 地元の商店が廃業し、年寄りがお金を使わなくなり、若い人も新しくできた安い店に行く。 42. 就業人数やこどもの数が減少しているからだと思います。 43. 受注の減少。大手企業の参入。 44. 少子化。若者がいない。 45. 消費者に購買力がない。とくに若い子持ち世代。天候の悪さに左右される。先が読めないので、どうすれば良いかわからない。 46. 人口が減少すれば、消費も減るのが当たり前。 47. 人口が少ない。若い人がいない。大型店は対抗できない。働くところが無い。 48. 人口減少。 49. お客の人口減少・高齢化、事業主の高齢化。 50. 人口減少、若者の働く場所がない、保育所・幼稚園・小学校・中学校の減少。 51. 人口減少・高齢化。 52. 人口減少と事業経営の負担の増大（設備投資にかかる費用や仕入れ価格等の急騰など）。 53. 人口減少にともなう建設現場の減少。 54. 人口減少により建築物件が少ない。 55. 人口減とライバル店の増加。 56. 全ての商品の価格が大きい。サミットによる期待感の反動と品不足による客数の減少。 57. 全て悪い。 58. 設備、経費が高すぎる。労働者不足。 59. 船舶のため、市内で仕事はしていません。四日市港や名古屋港で出張仕事をしています。 60. 増税後、価格が高止まりしている。 61. 大店舗が多く、自営の小売業の将来はない。 62. 地域の過疎化。 62. チェーン店が進出してきたため。 64. チェーン店ができ、客はそちらに取られた。個人店は苦しい。 65. デフレ傾向、節約・堅実なお金の使い方がライフスタイルとして定着し、明るい先の見通しが立たない今、なかなか人の財布のひもは緩まないし、お金を使える人もそういった状況の中では使いにくいという状況があるのでは。このように消費意欲が小さいのが、大きい要因。 66. どう考えても悪い。

地域区分	具体的な理由
	67. 廃業している店が多い。 68. ハウスメーカーの新築ばかりで、建設業の建てる家がない。 69. 発注が少なく、請け負う工事があまりない。市役所の偏った発注工事。 70. 人を集めるようなイベントがない。 71. 前向きな動きが感じられない。 72. 安売りの店が多すぎる。 73. 良い兆しがありますか？ 74. 良い話を聞かない。 75. 若い世代が他県へでて行く傾向にあり、就きたい仕事に就けない人たちも多いと思います。 76. 若い人が少ない。売上が伸びない。町に活気がない。民宿等の空き室が多い。 77. 若い人が働く場がないため、人口の減少・少子化が進む。大企業を志摩市へ誘致し人口の減少を防ぐことしか望みがない。 78. 若者の志摩離れ。人口減少。もっと観光業に力を入れるべき。 79. 悪い。 80. 市政は、市内業者を育成する等の考えがないように思えるから。
大王町	1. アベノミクスで悪い。 2. 志摩市の基幹産業である水産業が衰退傾向のため、それが志摩市全体に影響を及ぼしているような気がする。 3. 老人世帯が多くの方が年金生活なので、お金を使わない。若い人が増えれば子供のモノとかいるモノが多くなるが、老人では活動も先細りで、必要なモノが少しいいから。 4. 活気がなく、将来性がない。伊勢からの時間が、道路が悪いのでかかりすぎ。 5. 報酬単価の引き上げにより、経営が苦しくなっている。 6. 各種事業所の廃業が志摩市一円でみられ、当社にも影響している。 7. 人口減少と価格競争の激化による客離れ。 8. 人口の高齢化。 9. 人口の高齢化。 10. 客単価がさがり、お金を使わなくなった。 11. 人口減少。 12. 人がいない、若い労働力の流出、仕事がない。 13. 少子高齢化の歯止めがかからない。市長は里海というような大きな話ばかりしているが、具体的に何を示さないと意味がわからない。他県よりから若者が集まるようなアイディアを出さないと志摩市は消滅する。 14. 活気がない。 15. 人口減少。 16. 業種による格差が拡大しつつある。 17. 若者の減少。高齢社会。就職する企業がない。このため不景気。 18. 市役所の入札がくじのため。 19. 業者数に対して仕事量の絶対数が少ない。 20. 売上が伸びない。活気がない。 21. サミット以来悪くなった。 22. 創業53年になるが以前来てくれた人が死んでしまったが、代わりの来てくれる人が今はない。 23. 製造業の志摩離れ。真珠業・漁業の悪化。 24. 新築の件数が少ない。 25. サミット以降、大王崎は特に悪い。 26. 購読者が減っている。 27. 客も財布のひもを締めている。自分の買い物でパーと遣う気になれない。老後の蓄えも心配。 28. 大型店が多い。 29. 仕事が少ない。 30. サミット効果なし。 31. 個人事業者の廃業が多い。
志摩町	1. あまりにも複雑すぎて原因がわかりません。わかるのであれば、少しでも改善する方向にむかっているはずですが。 2. 売上げが減少している。 3. 売上減少、受注減、同業種は全国的に悪化している。 4. 大型店の一番店に客が集まり、個人店是对抗できない。大型店でも三番店では無理。 5. お客が少ない。住民も減少した。 6. お客の減少。 7. 業種によって良いところと悪いところの差があるが、自社は良くない。

地域区分	具体的な理由
	8. 漁業・真珠養殖の地場産業が良くない。 9. 自分が高齢者になり意欲に欠ける。 10. サミット後よかったのは一部のホテルだけ。里海・里海とぼやかしの言葉だけ。 11. 仕事量が少ない。新築がない。 12. 市内の公共工事を他市町の下請け業者に発注しているため。 13. 志摩町は養殖・漁業の尻つぼみのうえ、観光等にしても外からの人の流入がない。若い人は流出し、老人は死亡し、人口減少が続く。個人的には、高齢者が死亡したり、介護施設に入ったりして顧客が減少。 14. 少子化・客の死亡の増加により客数の減少。市内の安売り店に客が流れる。 15. 少子高齢化。 16. 人口が減るばかりで増えそうにないから。 17. 人口減少。 18. 人口減少。 19. 人口減少。 20. 人口減少、民宿・商店の激減、若者の流出、このまま何もしなければ、最後の店、特別な企業（お金持ち）、福祉事業以外は10年後無くなる。 21. 人口減少高齢化で買い物等も自力でいける人が少なくなっているため商店等の売上も伸びていないと思う。その反動として介護施設は入所者が増えて、介護職員は不足している状態で、給料も低く景気に反映していない。 22. 人口減少や景気の後退で需要（受注）が不足。事業形態の変化に対応できない。若者の流出で後継者や技術の伝達ができない。そのため、地元へ投資できない。 23. 新築・増築工事等の発注が皆無になりつつある。シャッター・店舗が多い。 24. 新築物件がない。改築も含め。 25. 人手不足。 26. 不況。 27. 店が減少しているのに、自店の売上が前年度より悪くなる。 28. 若者の流出、高齢化によって活気がない。
浜島町	1. 過疎化と観光客の減少。 2. 活気がない。考えが後ろ向きの人が多い。ケセラセラで前向きに物事をとらえて、楽しく夢を持ったらいと思う。年寄りばかりだが、夢を持った年寄りになって欲しい。 3. 高齢化・少子化と人口の流動がない。 4. サミットによる一時的な好景気があったが、アフターサミットの対策がないため（市の対策）一過性に終わる予想。 5. 消費者は1円でも安い方で買い物をする。 6. 人口減少。 7. 人口減少。 8. 人口減少。 9. 人口減少、後継者不足。 10. 人口減少と高齢化。 11. 浜島へ人があまり来なくなった。営業努力が足りない。 12. 人・物の動きが市内では鈍い。
磯部町	1. 以前ほど新築仕事がない。 2. 大手メーカーの参入により、お客のニーズも変わった。人口の多いところでは一部再認識による需要があるのみ。材料は以前は、国による価格操作により値上がりしたまま。一般のお客が既製品に流れるのは自然なこと。 3. お客の高齢化。 4. 過疎化が進んでいる。若者の働くところがない。 5. 活気がないから。 6. 観光客が少ない。 7. 公共事業が減少しているのに業者が増加している。 8. 高齢化による客の減少。燃料の多様化による現象。 9. 個人客がネットに移行し購買力が減少した。観光客も金を使わない。 10. 個人の観光客の減。 11. サミットがあったから。 12. 市外の価格の安い店で買う人が増えてきている。 13. 仕事が少ない。適正価格での受注が難しい。 14. 志摩市、鳥羽市、伊勢市に商品を納入しているが志摩市が最も売れ行きが悪い。 15. 少子化がすすんでいること。

地域区分	具体的な理由
	16. 人口減少による売上高の減少の影響、大型スーパー出店の影響。 17. 人口の減少。 18. 花屋をしているが、葬儀用の生花などを始め、めっきり出る数が減った。切り花などは別になくても生活できるので、景気が悪いと一番に切り捨てられるモノである。家に花を飾ろうという人があまりいなくなった。 19. 人の減少、客の減少。 20. 周りの人から売上が半減したと良く聴くから。 21. 物が売れない。 22. 良くはない。
計	163 件

3 業種別

●「景気が悪い」順位

「その他」67.3%→「製造業」61.7%→「電気・ガス・熱供給・水道業」61.6%→「卸売・小売業」59.2%→「建設業」58.6%→「飲食店・宿泊業」54.1%→「情報通信業」「運輸業」「不動産業」及び「教育・学習支援業」50.0%→「医療・福祉」33.3%→「金融・保険業」及び「不明」0%。

★下位の業種は、志摩市地域経済の景気動向にあまり影響を受けない業種とも考えられる。

表 14 業種別からみた志摩市地域経済の景気感および全体構成比

業 種	回答数	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	不明
建設業	70	0.0%	0.0%	38.6%	24.3%	34.3%	2.9%
製造業	47	0.0%	2.1%	34.0%	25.5%	36.2%	2.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	0.0%	38.5%	15.4%	46.2%	0.0%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
卸売・小売業	120	0.0%	4.2%	30.0%	20.0%	39.2%	6.7%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業	14	0.0%	7.1%	42.9%	14.3%	35.7%	0.0%
飲食店・宿泊業	74	0.0%	4.1%	40.5%	23.0%	31.1%	1.4%
医療・福祉	6	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%
教育・学習支援業	6	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
その他	98	0.0%	4.1%	22.4%	17.3%	50.0%	6.1%
不明	4	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%

将来の予測

3 か月後の志摩市地域経済の景気感の業種別予測

●「全体」

“どちらともいえない”の34.6%→“悪い”24.1%→“わからない”19.4%→“やや悪い”9.9%→“やや良い”及び“不明”5.6%→“良い”1.7%。

- ★「景気が良い」（“良い”＋“やや良い”）7.3%
- ★「景気が悪い」（“悪い”＋“やや悪い”）34.0%
- ★「予測できない」（“どちらともいえない”＋“わからない”）54.0%

●業種別順位

「情報通信業」50.0%→「電気・ガス・熱供給・水道業」46.2%→「その他」40.8%→「卸売・小売業」38.3%→「運輸業」37.5%→「建設業」32.9%→「製造業」31.9%→「飲食店・宿泊業」25.7%→「不動産業」21.4%→「医療・福祉」及び「教育・学習支援業」16.7%→「金融・保険業」及び「不明」0%。

表 15-1 3 か月後の志摩市地域経済の景気感の業種別予測

業 種	回答数	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	わからない	不明
建設業	70	1.4%	7.1%	35.7%	8.6%	24.3%	20.0%	2.9%
製造業	47	0.0%	6.4%	38.3%	10.6%	21.3%	19.1%	4.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	15.4%	23.1%	0.0%	46.2%	15.4%	0.0%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	0.0%	62.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%
卸売・小売業	120	0.8%	3.3%	30.0%	10.0%	28.3%	20.8%	6.7%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
不動産業	14	28.6%	7.1%	50.0%	7.1%	14.3%	21.4%	0.0%
飲食店・宿泊業	74	1.4%	6.8%	39.2%	10.8%	14.9%	18.9%	8.1%
医療・福祉	6	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
教育・学習支援業	6	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	98	0.0%	5.1%	25.5%	11.2%	29.6%	21.4%	7.1%
不明	4	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
全体平均	465	1.7%	5.6%	34.6%	9.9%	24.1%	19.4%	5.6%

“やや悪い” 及び “悪い” と答えた理由

“やや悪い” 及び “悪い” と回答した自由回答：92 件→人口減少が最も大きな要因で、中でも若者の流出、経済不況及び地元客の高齢化が理由として挙げられている。この質問の趣旨とは異なる自由回答も多数ある。

表 15-2 3 か月後の志摩市地域経済の景気感が “やや悪い” 及び “悪い” と答えた理由

具体的な理由
1. 明るい景気感が全くない。 2. 明るい材料がない。 3. 阿児町にお客がたくさん来て、見たいところがない。 4. アベノミクス効果が地方では感じられない。 5. 上向く要素がない。 6. 大手企業の一人勝ちのような状況。バブルの頃が忘れられず、地道な努力に欠ける業者ばかりで、暖かみのない地域になってしまった。また、強いリーダーシップのある人がいないためもある。 7. 回復は望めない。 8. 代わり映えがしない。 9. 観光客が少ない。 10. 企業が多く、小さな駅に客無し。 11. 客数の減少、天気の不順。 12. 急に良くなる要因がない。 13. 競争相手が増加している。 14. 漁業・真珠養殖の地場産業の発展が見込めない。 15. 景気回復の兆しがない。 16. 景気かわりそうでない。 17. 景気が悪いから。 18. 景気は横ばいする。 19. 現在の計器は平成 10 年くらい前のもの。 20. 現状の悪い状況の打開策がない。 21. 購読者が毎月減ると共に、チラシも少なくなっている。

具体的な理由

22. 小売業の将来性はない。
23. 高齢化・少子化と人口の流動がない。
24. 高齢者が増えて、若者の育たない地域だから。
25. ゴールデンウィークは少し期待が持てるが卒業・新入時にはあまり期待が持てない。とくに一月後半から3か月後半までは非常に悪いと思われる。
26. 国内外景気の落ち込み。
27. 個人がうるおっていない。
28. 先のことなどわからない。
29. サミット効果の終焉。
30. サミットの期待外れ。
31. サミットの時も良くなかったのに、その後ますますひどくなっている。
32. サミットの余韻に浸って本来の景気を理解できるのか？
33. 産業が少ない。
34. 仕事量が少ない。新築がない。
35. しばらくはサミット効果は続く。
36. 志摩からの住民離れ。
37. 志摩町内に仕事がない。
38. 住民が他の町や市に移り、志摩町がだんだん衰退していく。
39. 受注見積もりの機会が無い。
40. 少子化・客の死亡の増加により客数の減少。市内の安売り店に客が流れる。
41. 少子高齢化や人口減少により建設業の必要性が減少していく。
42. 将来的ビジョンがない。長期的計画が立てられない市なので。
43. 人口が減少すれば売上も減るのが当たり前。
44. 人口が増えるとは思えない。
45. 人口が減っている。若い人は収入が少ない。老人はお金を使わない。挑戦する人が少なく、希望が作り出されていない。
46. 人口減少。
47. 人口減少。
48. 人口減少。
49. 人口減少。
50. 人口減少。
51. 人口減少。
52. 人口減少、収入源の見込みがない、高齢社会、デフレ経済。
53. 人口減少・高齢化。
54. 人口減少が続くから。
55. 人口減少と事業経営の負担の増大。
56. 人口減少の進展。
57. 人口減少のため、過疎地指定されているので伸びない。
58. 人口の減少。
59. 人口の高齢化。
60. 人口の高齢化。
61. 人材不足・マーケットの先行きが見えない。
62. 新築物件がない。
63. 新聞を読んでくれない。
64. すぐに景気が良くなるとは思えない。
65. 少しずつでも魅力有るスポットを行政や商工会・観光協会が発掘する。
66. 全て悪い。
67. 対策がなかなか出てこない。
68. 対策不足。
69. だらだらして良くしようと努力していない。
70. 短期的には良くならない。
71. 月日が立てばサミット効果は薄れる。
72. 店舗閉店の話を良く耳にする。商店が減っていく。このままでは悪くなるが考え方一つで良くもなると思う。今行動を起こせば、未来は変わっていくのだと思う。
73. どんどん近所の家が減っていく。
74. 名古屋方面のお客が、東名阪が渋滞するので、日本海方面に流れている。
75. 何かいい見込みがあるのなら、教えて欲しい。
76. 年々悪化、む歯止めがきかない。

具体的な理由
77. 年々悪化している。 78. 不況。 79. 売上が少なくなっていく。 80. 見通しが立たない。 81. 良くなる保障もなく、気もしない。 82. 良くなる理由がそもそもない。 83. 老人が多い。 84. 若者が都会へいってしまう。 85. 若者の景気悪(仕事不足)、住民の高齢化。 86. 若者の志摩離れ。人口減少。もっと観光業に力をい減るべき。 87. 若者の地元からの流出。 88. 若者の就職先がない。 89. 若者の働く場所がなくて、老人ばかりで生き残れるのは公務員と学校の先生ぐらいか。 90. 若者は車で市外に出かける。 91. 悪くなる。 92. 市政は、 これからも市内業者を育成する等の考え方が変わらないと思われるから。

6 か月後の志摩市地域経済の景気感の業種別予測

●「全体」

“どちらともいえない” の 34.4% → “悪い” 24.1% → “わからない” 19.1% → “やや悪い” 10.8% → “不明” 6.2% → “やや良い” 4.9% → “良い” 0.4%。

表 16-1 6 か月後の志摩市地域経済の景気感の業種別予測

業種	回答数	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	わからない	不明
建設業	70	0.0%	8.6%	35.7%	8.6%	22.9%	21.4%	2.9%
製造業	47	0.0%	6.4%	36.2%	12.8%	21.3%	19.1%	4.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	7.7%	30.8%	0.0%	46.2%	15.4%	0.0%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	0.0%	62.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%
卸売・小売業	120	0.0%	1.7%	29.2%	10.8%	29.2%	20.0%	9.2%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業	14	0.0%	14.3%	42.9%	7.1%	14.3%	21.4%	0.0%
飲食店・宿泊業	74	1.4%	4.1%	39.2%	13.5%	14.9%	18.9%	8.1%
医療・福祉	6	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
教育・学習支援業	6	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	98	0.0%	5.1%	25.5%	11.2%	29.6%	21.4%	7.1%
不明	4	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
計	465	0.4%	4.9%	34.4%	10.8%	24.1%	19.1%	6.2%

“やや悪い” 及び “悪い” と答えた理由

“やや悪い” 及び “悪い” と答えた理由：94 件 → 「3 か月後の予測」とほぼ同一回答事業者が自由回答しているため、内容的には、やはり人口減少が最も大きな要因で、中でも若者の流出経済不況及び地元のお客の高齢化が理由として挙げられている。この質問の趣旨とは異なる自由回答も多数ある。。

表 16-2 6 か月後の志摩市地域経済の景気感が “やや悪い” 及び “悪い” と答えた理由

具体的な理由
1. 明るい景気感が全くない。 2. 明るい材料がない。 3. 阿児町にお客がたくさん来て、見たいところがない。 4. 新しいエネルギーの出現がない。 5. アベノミクス効果が地方では感じられない。

6. 上向く要素がない。
7. 大手企業の一人勝ちのような状況。バブルの頃が忘れられず、地道な努力に欠ける業者ばかりで、暖かみのない地域になってしまった。また、強いリーダーシップのある人がいないためもある。
8. 回復は望めない。
9. 代わり映えがしない。
10. 観光客が少ない。
11. 企業が多く、小さな駅に客は無い。
12. 客数の減少、天気の不順。
13. 急に良くなる要因がない。
14. 競争相手が増加している。
15. 漁業・真珠養殖の地場産業の発展が見込めない。
16. 景気回復の兆しがない。
17. 景気がかわりそうでない。
18. 景気が悪いから
19. 景気は横ばいする。
20. 現在の計器は平成 10 年くらい前のもの。
21. 現状の悪い状況の打開策がない。
22. 購読者が毎月減ると共に、チラシも少なくなっている。
23. 小売業の将来性はない。
24. 高齢化・少子化と人口の流動がない。
25. 高齢者が増えて、若者の育たない地域だから。
26. ゴールデンウィークは少し期待が持てるが卒業・新入時にはあまり期待が持てない。とくに 1 月後半から 3 月後半までは非常に悪いと思われる。
27. もっと観光業に力をいれるべき。
28. 国内外景気の落ち込み。
29. 個人がうるおっていない。
30. 先のことなどわからない。
31. サミット効果の終焉。
32. サミットの期待外れ。
33. サミットの時も良くなかったのに、その後ますますひどくなっている。
34. サミットの余韻に浸って本来の景気を理解できるのか？
35. 産業が少ない。
36. 仕事量が少ない。新築がない。
37. しばらくはサミット効果が続くがその後がない。
38. 志摩からの住民離れ。
39. 志摩町内に仕事がない。
40. 住民が他の市町に移り、志摩町がだんだん衰退していく。
41. 市役所の受注見積もりが無い。
42. 少子化・客の死亡の増加により客数の減少。市内の安売り店に客が流れる。
43. 少子高齢化や人口減少により建設業の必要性が減少していく。
44. 将来的ビジョンがない。長期的計画が立てられない市なので。
45. 人口が減少すれば売上も減るのが当たり前。
46. 人口が増えるとは思えない。
47. 人口が減っている。若い人は収入が少ない。老人はお金を使わない。挑戦する人が少なく、希望が作り出されていない。
48. 人口減少。
49. 人口減少。
50. 人口減少。
51. 人口減少。
52. 人口減少。
53. 人口減少。
54. 人口減少、収入源の見込みがない、高齢社会、デフレ経済。
55. 人口減少・高齢化。
56. 人口減少が続くから。
57. 人口減少と事業経営の負担の増大。
58. 人口減少の進展。
59. 人口減少のため、過疎地指定されているので伸びない。
60. 人口の減少。
61. 人口の高齢化。

62. 人口の高齢化。
63. 人材不足・マーケットの先行きが見えない。
64. 新築物件がない。
65. 新聞を読んでくれない。
66. すぐに景気が良くなるとは思えない。
67. 少しずつでも魅力有るスポットを行政や商工会・観光協会が発掘する。
68. 全て悪い。
69. 対策がなかなか出てこない。
70. 対策不足。
71. だらだらして良くしようと努力していない。
72. 短期的には良くならない。
73. 月日が立てばサミット効果は薄れる。
74. 店舗閉店の話を良く耳にする。商店が減っていく。このままでは悪くなるが考え方一つで良くもなると思う。今行動を起こせば、未来は変わっていくのだと思う。
75. どんどん近所の家が減っていく。
76. 名古屋方面のお客が、東名阪が渋滞するので、日本海方面に流れている。
77. 何かいい見込みがあるのなら、教えて欲しい。
78. 年々悪化、歯止めがきかない。
79. 年々悪化している。
80. 不況。
81. 売上が少なくなっていく。
82. 見通しが立たない。
83. 良くなる保証もなく、気もしない。
84. 良くなる理由がそもそもない。
85. 老人が多い。
86. 若者が都会へいってしまう。
87. 若者の景気悪(仕事不足)、住民の高齢化。
88. 若者の志摩離れ。人口減少。
89. 若者の地元からの流出。
90. 若者の就職先がない。
91. 若者の働く場所がなくて、老人ばかりで生き残れるのは公務員と学校の先生ぐらいか。
92. 若者は車で市外に出かける。
93. 悪くなる。
94. 市政は、これから市内在業者を育成する等の考え方が変わらないと思われるから。

1年後の志摩市地域経済の景気感の業種別予測

●「全体」

“どちらともいえない” 34.4%→“悪い” 24.1%→“わからない” 19.1%→“やや悪い” 10.8%
→“不明” 6.2% →“やや良い” 4.9%→“良い” 0.4%。

★「景気が良い」5.3%。「景気が悪い」34.9%。「予測できない」53.5%。

表 17-1 1年後の志摩市地域経済の景気感の業種別予測

業種	回答数	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	わからない	不明
建設業	70	0.0%	8.6%	35.7%	8.6%	22.9%	21.4%	2.9%
製造業	47	0.0%	6.4%	36.2%	12.8%	21.3%	19.1%	4.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	7.7%	30.8%	0.0%	46.2%	15.4%	0.0%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	0.0%	62.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%
卸売・小売業	120	0.0%	1.7%	29.2%	10.8%	29.2%	20.0%	9.2%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業	14	0.0%	14.3%	42.9%	7.1%	14.3%	21.4%	0.0%
飲食店・宿泊業	74	1.4%	4.1%	39.2%	13.5%	14.9%	18.9%	8.1%
医療・福祉	6	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
教育・学習支援業	6	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	98	0.0%	5.1%	25.5%	11.2%	29.6%	21.4%	7.1%
不明	4	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
計	465	0.4%	4.9%	34.4%	10.8%	24.1%	19.1%	6.2%

“やや悪い”及び“悪い”と答えた理由

“やや悪い”及び“悪い”と回答した自由回答：94件→「3か月後の予測」とほぼ同一回答事業者が自由回答しているため、内容的には、やはり人口減少が最も大きな要因で、中でも若者の流出、経済不況及び地元のお客の高齢化が理由として挙げられている。この質問の趣旨とは異なる自由回答も多数ある。

表 17-2 回答事業者の6か月後の志摩市地域経済の景気感が“やや悪い”及び“悪い”と答えた理由

具体的な理由
1. 明るい景気感が全くない。 2. 明るい材料がない。 3. 阿児町にお客がたくさん来て、見たいところがない。 4. 新しいエネルギーの出現がない。 5. アベノミクス効果が地方では感じられない。 6. 上向き要素がない。 7. 大手企業の一人勝ちのような状況。バブルの頃が忘れられず、地道な努力に欠ける業者ばかりで、暖かみのない地域になってしまった。また、強いリーダーシップのある人がいないためもある。 8. 回復は望めない。 9. 代わり映えがしない。 10. 観光客が少ない。 11. 企業が多く、小さな駅に客は無い。 12. 客数の減少、天気の不順。 13. 急に良くなる要因がない。 14. 競争相手が増加している。 15. 漁業・真珠養殖の地場産業の発展が見込めない。 16. 景気回復の兆しがない。 17. 景気がかわりそうでない。 18. 景気が悪いから

具体的な理由

19. 景気は横ばいする。
20. 現在の計器は平成 10 年くらい前のもの。
21. 現状の悪い状況の打開策がない。
22. 購読者が毎月減ると共に、チラシも少なくなっている。
23. 小売業の将来性はない。
24. 高齢化・少子化と人口の流動がない。
25. 高齢者が増えて、若者の育たない地域だから。
26. ゴールデンウィークは少し期待が持てるが卒業・新入時にはあまり期待が持てない。とくに 1 月後半から 3 月後半までは非常に悪いと思われる。
27. もっと観光業に力を入れるべき。
28. 国内外景気の落ち込み。
29. 個人がうるおっていない。
30. 先のことなどわからない。
31. サミット効果の終焉。
32. サミットの期待外れ。
33. サミットの時も良くなかったのに、その後ますますひどくなっている。
34. サミットの余韻に浸って本来の景気を理解できるのか？
35. 産業が少ない。
36. 仕事量が少ない。新築がない。
37. しばらくはサミット効果が続くがその後がない。
38. 志摩からの住民離れ。
39. 志摩町内に仕事がない。
40. 住民が他の市町に移り、志摩町がだんだん衰退していく。
41. 市役所の受注見積もりが無い。
42. 少子化・客の死亡の増加により客数の減少。市内の安売り店に客が流れる。
43. 少子高齢化や人口減少により建設業の必要性が減少していく。
44. 将来的ビジョンがない。長期的計画が立てられない市なので。
45. 人口が減少すれば売上 も減るのが当たり前。
46. 人口が増えるとは思えない。
47. 人口が減っている。若い人は収入が少ない。老人はお金を使わない。挑戦する人が少なく、希望が作り出されていない。
48. 人口減少。
49. 人口減少。
50. 人口減少。
51. 人口減少。
52. 人口減少。
53. 人口減少。
54. 人口減少、収入源の見込みがない、高齢社会、デフレ経済。
55. 人口減少・高齢化。
56. 人口減少が続くから。
57. 人口減少と事業経営の負担の増大。
58. 人口減少の進展。
59. 人口減少のため、過疎地指定されているので伸びない。
60. 人口の減少。
61. 人口の高齢化。
62. 人口の高齢化。
63. 人材不足・マーケットの先行きが見えない。
64. 新築物件がない。
65. 新聞を読んでくれない。
66. すぐに景気が良くなるとは思えない。
67. 少しずつでも魅力有るスポットを行政や商工会・観光協会が発掘する。
68. 全て悪い。
69. 対策がなかなか出てこない
70. 対策不足。
71. だらだらして良くしようと努力していない。
72. 短期的には良くならない。
73. 月日が立てばサミット効果は薄れる。
74. 店舗閉店のお話を良く耳にする。商店が減っていく。このままでは悪くなるが考え方一つで良くもなると思う。

具体的な理由

- 今行動を起こせば、未来は変わっていくのだと思う。
75. どんどん近所の家が減っていく。
 76. 名古屋方面のお客が、東名阪が渋滞するので、日本海方面に流れている。
 77. 何かいい見込みがあるのなら、教えて欲しい。
 78. 年々悪化、歯止めがきかない。
 79. 年々悪化している。
 80. 不況。
 81. 売上が少なくなっていく。
 82. 見通しが立たない。
 83. 良くなる保障もなく、気もしない。
 84. 良くなる理由がそもそもない。
 85. 老人が多い。
 86. 若者が都会へいってしまう。
 87. 若者の景気悪(仕事不足)、住民の高齢化。
 88. 若者の志摩離れ。人口減少。
 89. 若者の地元からの流出。
 90. 若者の就職先がない。
 91. 若者の働く場所がなくて、老人ばかりで生き残れるのは公務員と学校の先生ぐらいか。
 92. 若者は車で市外に出かける。
 93. 悪くなる。
 94. 市政は、これからも市内業者を育成する等の考え方が変わらないと思われるから。

3年後の志摩市地域経済の景気感の業種別予測

★「全体」

“どちらともいえない”の32.7%→“わからない”28.8%→“悪い”25.4%→“やや悪い”5.2%→“不明”6.5%→“やや良い”1.5%→“良い”0%。

★「景気が良い」1.5%。「景気が悪い」30.6%。「予測できない」64.3%。

表 18 3年後の志摩市地域経済の景気感の業種別予測

業種	回答数	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	わからない	不明
建設業	70	0.0%	0.0%	35.7%	1.4%	30.0%	28.6%	4.3%
製造業	47	0.0%	0.0%	34.0%	8.5%	25.5%	29.8%	2.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	0.0%	30.8%	0.0%	30.8%	38.5%	0.0%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	0.0%	62.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%
卸売・小売業	120	0.0%	0.0%	26.7%	5.8%	27.5%	30.8%	9.2%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業	14	0.0%	7.1%	35.7%	7.1%	28.6%	21.4%	0.0%
飲食店・宿泊業	74	0.0%	4.1%	36.5%	2.7%	20.3%	28.4%	8.1%
医療・福祉	6	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
教育・学習支援業	6	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	98	0.0%	2.0%	24.5%	5.1%	26.5%	33.7%	8.2%
不明	4	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%
計	465	0.0%	1.5%	32.7%	5.2%	25.4%	28.8%	6.5%

“やや悪い” 及び “悪い” と答えた理由

● “やや悪い” 及び “悪い” と回答した自由回答：102 件

★人口減少が最も大きな要因で、中でも若者の流出、経済不況や地元のお客の高齢化等。

表 19 3 年後の志摩市地域経済の景気感が “やや悪い” 及び “悪い” と答えた理由

具体的な理由
1. 市政は、これからも市内業者を育成する等の考え方が変わらないと思われるから。 2. 若者は車で市外に出かける。 3. 若者の働ける環境の整備をしないと人口減少も一層拍車がかかる。 4. 若者の働く場所がなくて、老人ばかりで生き残れるのは公務員と学校の先生ぐらいか。 5. 若者の就職先がない。 6. 若者の志摩離れ。人口減少。もっと観光業に力をいれるべき。 7. 若者の景気悪(仕事不足)、住民の高齢化。 8. 老人が多い。 9. 予測もつかない。 10. 予想がつかない。 11. 良くなる理由がそもそもない。 12. 良くなる保証もなく、気もしない。 13. 元に戻ってしまいそう。 14. もっと悪くなると思うから先が見えない。 15. 見通せず 16. 見通しが立たない。 17. 三重国体があるが、好影響があるとは思えない。 18. 不況。 19. 年齢的にきつくなってきた。 20. 年々下降。 21. 年々悪化、歯止めがきかない。 22. 何もしない現状では駄目ですね。 23. 何かいい見込みがあるのなら、教えて欲しい。 24. 名古屋方面のお客が、東名阪が渋滞するので、日本海方面に流れている。 25. どんどん近所の家が減っていく。 26. 道路ができ人の流れが変わるかもしれないから。 27. 店舗閉店の話を良く耳にする。商店が減っていく。このままでは悪くなるが考え方一つで良くなると思う。今行動を起こせば、未来は変わっていくのだと思う。 28. 体力の限界。 29. 対策不足。 30. 対策がなかなか出てこない。 31. 全て悪い。 32. 新築物件がない。 33. 人口の高齢化。 34. 人口の減少。 35. 人口減少のため、過疎地指定されているので伸びない。 36. 人口減少の進展。 37. 人口減少による消費の低迷。 38. 人口減少に比例し悪くなっている。 39. 人口減少に歯止めがかからないので景気が良くならない。 40. 人口減少と事業経営の負担の増大。 41. 人口減少が続くから。 42. 人口減少が進む。 43. 人口減少・雇用喪失、高齢化が止まらないと思われるので、そもそも好転する見込みが予測できない。 44. 人口減少・雇用喪失。 45. 人口減少・高齢化。 46. 人口減少、収入源の見込みがない、高齢社会、デフレ経済。 47. 人口減少。 48. 人口減少。

具体的な理由

49. 人口減少。
50. 人口減少。
51. 人口減少。
52. 人口減少。
52. 人口減少。
53. 人口減少。
54. 人口減。
55. 人口減。
56. 人口が減っている。若い人は収入が少ない。老人はお金を使わない。挑戦する人が少なく、希望が作り出されていない。
57. 人口が減少すれば売上 も減るのが当たり前。
58. 将来的ビジョンがない。長期的計画が立てられない市なので。
59. 少子高齢化や人口減少により建設業の必要性が減少していく。
60. 就業人数や、こどもの数が減少しているからだと思います
61. 地元は老人ばかり。
62. 地元の景気を良くするための基本理念を何に置くのか？
63. 志摩町内に仕事がない。
64. 志摩市全体が老人ばかり。
65. 志摩からの住民離れ。
66. 仕事量が少ない。新築がない。
67. 産業が少ない。加えてますます人口が減る。
68. サミットの時も良くなかったのに、その後ますますひどくなっている。
69. 先のことなのでわからないが、宣伝・広告次第である。
70. 先のことなどわからない。
71. リピートしてもらえる努力とお迎え、見送り方が悪いからじり貧。
72. 再増税があるからますます駄目になる。
75. このまま過疎化が続けば、5 年先 10 年先には限界集落になってしまう。
76. 個人がうるおっていない。
77. 高齢者の増加。
78. 高齢者が増えて、若者の育たない地域だから。
79. 高齢化・少子化と人口の流動がない。
80. 小売業の将来性はない。
81. 小売業ですが顧客がほとんど他府県の人なのでアクセスが良くなると客数は増えない。
82. 購読者が毎月減ると共に、チラシも少なくなっている。
83. 現状またはそれ以下となる。現状のレストランというお店の形態の変化がさけられない。観光に来て、ランチは回転寿司、焼き肉、ファミレス以外食べるところがなくなる。
84. 景気が悪いから。
85. 景気がかわりそうでない。
86. 景気回復の兆しがない。
87. 漁業・真珠養殖の地場産業の発展が見込めない。
88. 競争相手が増加している。
89. 業界全体に改変があるかもしれない。
90. 客数の減少、天候不順。
91. 企業誘致に期待する。
92. 企業が多く、小さな駅には客が無い。
93. 観光客が少ない。
94. 過疎化。
95. 大手企業の一人勝ちのような状況。バブルの頃が忘れられず、地道な努力に欠ける業者ばかりで、暖かみのない地域になってしまった。また、強いリーダーシップのある人がいないためもある。
96. 大きなイベントがない。
97. 大型店、ネット、個人店での購買比率が大きく変わる。
98. 上向き要素がない。
99. 新しいエネルギーの出現が期待できない。
100. 明るい材料がない。
101. 3 年後はさらに悪くなると思う。
102. 3 年後なんて想像もできない。

個別企業の景気感

業種別企業

●「全体」

“どちらともいえない” 34.2%→“悪い” 29.2%→“やや悪い” 19.4%→“やや良い” 11.6%→“不明” 4.5%→“良い” 1.1%。

★「景気が良い」12.7%。「景気が悪い」48.6%。「予測できない」53.5%→「景気が良い」と「景気が悪い」の差は、-35.9ポイント。

●業種別順位

「金融・保険業」66.7%→「卸売・小売業」55.0%→「その他」52.0%→「不動産業」50.0%→「医療・福祉」及び「教育・学習支援業」50.0%→「製造業」46.8%→「電気・ガス・熱供給・水道業」46.2%→「飲食店・宿泊業」46.0%→「建設業」40.0%→「運輸業」及び「不明」25.0%→「情報通信業」0%。

★順位は、不況企業の多い業種を示している。

表 20 現在の景気感（業種別）

業種	回答数	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	不明
建設業	70	2.9%	14.3%	38.6%	15.7%	24.3%	4.3%
製造業	47	0.0%	14.9%	36.2%	17.0%	29.8%	2.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	0.0%	46.2%	7.7%	38.5%	7.7%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	25.0%	50.0%	12.5%	12.5%	0.0%
卸売・小売業	120	0.8%	7.5%	30.8%	18.3%	36.7%	5.8%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
不動産業	14	0.0%	14.3%	28.6%	28.6%	21.4%	7.1%
飲食店・宿泊業	74	1.4%	12.2%	37.8%	20.3%	25.7%	2.7%
医療・福祉	6	0.0%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%
教育・学習支援業	6	0.0%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%
その他	98	0.0%	11.2%	31.6%	20.4%	31.6%	5.1%
不明	4	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%
計	465	1.1%	11.6%	34.2%	19.4%	29.2%	4.5%

“やや悪い”及び“悪い”と答えた理由

●“やや悪い”及び“悪い”と回答した自由回答：157件

★人口減少、若者の流出、市場の成熟化による顧客ニーズの多様化、公共事業等の減少、経済不況、大型店の進出や地元客の高齢化等。
※質問の趣旨と異なる自由回答も多数ある。

表 21 企業形態別景気感が“やや悪い”及び“悪い”と答えた理由

具 体 的 な 理 由
1. 悪い以外の回答はない。
2. 私どもの業種は水産業に依存しており、水産業の衰退による後継者がなく、人口も流出傾向にあり、明るい未来が見えない。
3. 若者が利用しなくなっている。
4. 若者が少ないし、志摩町以外の店に行ってしまう。

具 体 的 な 理 由

5. 老人世帯が多くの人々が年金生活なので、お金を使わない。若い人が増えれば子供のモノとかいるモノが多くなるが、老人では活動も先細りで、必要なモノが少しでいいから。
6. 良くなる保証もなく、気もしない。
7. 有限会社とはいえ、一人でできることはたかがしれており、明るい展望はない。
8. 物が売れない。お客が来ない。
9. もっと悪くなると思うから先が見えない。人口が減っていく。
10. 目先の変化をつけるものが思いつかず、何かをするにも資金もない。
昔からの営業形態を続けるしか能力が無いため。
11. 店で販売している商品は全国的に減少ぎみのうえ、それを使うレジャー産業も衰退してきている。
12. 本社自体の業績が悪いようだ。
13. 報酬単価の引き上げにより、経営が苦しくなっている。
14. ふるさとプレミアム商品券、サミットも終わり、次の一年がない。
15. 不景気で物が売れない。
16. 不景気で消費者は必要なものしか買わない。
17. 不景気。
18. 必死でがんばっているが悪い。
19. 販売単価の低下による売上高の減少。
20. 販売員の人材がいない。
21. 販価の低下、販売点数の減少。
22. 浜島には見るところがないので、特産品土産の売り場や朝市のようなことを、海岸通りを利用して観光客等が集まる仕掛けを作りたい。
23. 年齢的なことでそろそろ引退を考えている。
24. 年々悪くなっていく感じがする
25. 夏休みが終わり、9月の連休が終わり、客が少ない時期で天候も悪く暇です。
26. 取引先に在庫がたくさんあり、仕事が減ってきた。
27. 取扱量の減少、売上の減少。
28. 当社は下請けを90%でうけているので、公共事業の予算に左右される。できることなら、積算単価が上がることを期待します。
29. 同業者が増えた。
30. 同業者が増えた。
31. 天候に左右されるので、売上は伸びていない。
32. 地域に老人しかいない。
33. 消費者は食べることを以外にお金をあまり使わない。
34. 他業者との単価ほど安くできない。
35. 対策不足。
36. 対策がなかなか出てこない。
37. 外からの人出の増加を臨む。
38. 専門店のまねをしたが今の景気につながっていない。人口減少による消費力の低さが原因と思う。
39. 前年マイナスで振りが悪い。
40. 前年と比較して悪くなっている。
41. 全体的に仕事量が少ない。
42. 積極的な営業活動はとれていない。食材等の値上がりで苦しい。
43. 世代が変わり若い人は修繕に興味が無い。
44. 全て悪い。
45. 数年前にくらべ現場数が減少した。
46. 数年前から景気は良い方にならない。
47. 新築があっても器具は全部工務店が手配してくるので、材料だけでは利益が少なく、いつもそのような 48. 状態なので支払いになると大変です。
49. 新築・増築工事等の発注が皆無になりつつある。
50. シャッター・店舗が多い。
51. 真珠養殖の廃業があり、養殖業者が減少してきている。
52. 人口の高齢化。
53. 人口の高齢化。
54. 人口の減少と高齢化。
55. 人口の減少。
56. 人口減少による売上高の減少の影響、大型スーパー出店の影響。
57. 人口減少と店の努力不足。
58. 人口減少と消費者が食費を抑えるため外食回数を減らす過程が増えた。

具 体 的 な 理 由

59. 人口減少と高齢化が客数減少につながっている。高齢化によるホーム入居などで来店数が減るばかり。
60. 人口減少と高齢化が客数減少につながっている。
61. 人口減少と高齢化。
62. 人口減少で年々悪化している。
63. 人口減少が続くから。
64. 人口減少・高齢化。
65. 人口減少。
66. 人口減。
67. 人口が減るばかりで増えそうにないから。
68. 人口が減って農協、漁協等他地区にいかねばならないような不便が多くなっている。
69. 常連の客だけでサミット客はなかった。
70. 原材料の商品が高すぎる。原料不足。
71. 消費税と大規模小売店法で地域経済力は失われた。
72. 消費税8%とアップで年3回程度来るお客の来る回数が1回程度減っている。
73. サミット前の志摩方面への道路が混む等宿泊が困難のような報道により来客が減少した。
74. 消費者の高齢化。
75. 客が少なく商売にならない。
76. 少子高齢化や人口減少により建設業の必要性が減少していく。
77. 少子化・客の死亡の増加により客数の減少。市内の安売り店に客が流れる。
78. 需要が増えない。
79. 受注量の減少。工事費の低さ（顧客に経済力がない）、人口の大半が中高年で年金生活のため、将来についての計画が見いだせない。
80. 飲酒が厳しくなった。
81. 住民の減少。
82. 従業員が少ないので、新規契約の営業ができないので現状維持が精一杯。
83. 借金をかえしていきるのかな？健康状態の不安。
84. 地元の客も入らなくなってきた。
85. 志摩市のすばらしさをピールして、市職員も努力し、総意工夫をしないと、商いが成り立たないように思う。市は全員ががんばるように努力をして欲しい。
86. 志摩市のスーパーの店員には売ろうという意欲が感じられない。
87. 志摩市だけで無く全国的に悪い。
88. 児童数の減少。
89. 仕事量が少ない。
90. 仕事先の減少。
91. 仕事がない。
92. 仕事がない。
93. 仕事が少ない上に、利益が出ない。
94. 仕事が少ない。
95. サミットでかなりマイナスになっている。
96. サミット期間中のマイナスが大きい。
97. サミット関連で舗装工事1件受注した。受注により寄付もとせられ、他の工事現場作業中断（サミット98.前～サミット期間中）もあり、結果どちらも言えない。
99. 昨年の同期よりも売上が落ちている。
100. 最近閉店するところが多く、町そのものが、活気がなくなっている。若者は遠くまで行って買い物をするが、高齢者は所売用品など移動販売を利用することが多くなった。
101. 今後の集客が見込めない。
102. 子供の減少。
103. 固定客・事業主の高齢化。チェーン店の進出による影響。
104. 若い人のセンスについていけない。
105. 答えは変わらないですが悪いには変化無し。
106. 個人の観光客の減。
107. 国内はだんだん難しくなると思います。
108. 国内外景気の落ち込み。
109. 高齢の人はほとんど年金暮らしで生活を守るのが精一杯で市場に金が回らない。
110. 高齢のため仕事を選別しているため。
111. 高齢になり、受け入れ客を選別している。
112. 高齢化による客の減少。燃料の多様化による現象。
113. 高齢化と人口減少。

具 体 的 な 理 由

114. 高齢化社会になったため、老人のお客が多い。
115. 公共工事が落札できない。
116. 公共事業の減少で、入札数も減ってきて入札に参加しても落札できる状態でない。
117. 原料単価が上がったため、製品価格を上げたら売れ行きが落ちてきた。
118. 建築関係で良くなる要素がない。
119. 経費が掛かりすぎるため。
120. 景気が悪く仕事が減少。
121. お客のニーズが減少している。
122. 客の入りが悪い。世の中の人々が金を使わない。
123. 客単価悪い。ランチしか出ない。地元の客が少ない。とくに、大学生やＯＬがいない。観光客も土曜・日曜しか来ない。志摩のレストラン経営は難しい。実績で調べてみると、一年に一回の観光客、一年に二・三回の地元の客という結果である。
124. 客単価の低下、ネットやドラッグストアで買うため、客離れ。
125. 客数の減少。お得意さんの高齢化。デフレ傾向、節約・堅実なお金の使い方がライフスタイルとして定着し、明るい先の見通しが立たない今、なかなか人の財布のひもは緩まないし、お金を使える人でもそういった状況の中では使いにくいというのがあるのでは。このように消費意欲が小さいのが、大きい要因。
126. 客数の減少、天気の不順。
127. 客数の減少。
128. 客数の減少。
129. 客数の減少。
130. 客数が徐々に減ってきている。
131. 客が少なすぎる。コンビニが多すぎる。
132. 客がすくない。
133. 客が死でいく。
134. 客が来ない。
135. 希望がない。
136. 観光客が減り、この夏は旅館もへり、絵描きにくる学生さんの泊まりが少なくなったこと。
137. 家庭がお金を使わなくなった。
138. 過疎化。
139. 外部からの同業種の進出が多く、価格等で競争にならない。
140. お客は高齢者が多いので、来店が難しかったり、デーサービス、介護施設へ行ったりするので顧客の減少は続く。
141. お客の来店数が年々減少気味。
142. お客が少ないから売上が少ない。
143. お客が少ない。住民も減少した。
144. お客がいない。
145. オーダーが年々少なくなり、ストックを持たない店が多くなってきた。
146. 大型店ができてお客が減少した。
147. 大型スーパー店に客が行くため。
148. 売り上げ不振。
149. 売上の伸びが悪い。
150. 売上の伸びが止まったため。
151. 売上減少。消費行動の変化。売上も減少していることから、他業種の創業も考えている。
152. 売上減少。
153. 飲食店の減少に伴い住民の外食の減少。
154. チェーン店が多くなった。若い人が少ない。仕事がない。消費税アップが苦しい。
155. 田舎でスーパーが無い。老人が増加。
156. 2～30年前と比較すると、比べものにならない。
157. 2.3日で済む修理ばかり。

売上動向

●全体

「売上が増加」（“増加した”＋“やや増加した”）17.7%。「売上が減少」（“減少した”＋“やや減少した”）36.8%。「売上が増加」と「売上が減少」の差－19.1ポイント。

業種別「対前月」（平成28年7月と8月の比較）売上比較

●売上動向が悪い（売上が減少）業種別順位

「電気・ガス・熱供給・水道業」61.6%→「情報通信業」及び「運輸業」50.0%→「卸売・小売業」45.0%→「その他」38.8%→「医療・福祉」33.3%→「建設業」31.5%→「不動産業」28.6%→「飲食店・宿泊業」28.4%→「製造業」25.5%→「教育・学習支援業」16.7%→「金融・保険業」0%。

表 22 業種別の「対前月」売上比較

業種	回答数	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
建設業	70	4.3%	10.0%	42.9%	18.6%	12.9%	11.4%
製造業	47	4.3%	25.5%	40.4%	17.0%	8.5%	4.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	0.0%	30.8%	46.2%	15.4%	7.7%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	12.5%	25.0%	25.0%	25.0%	12.5%
卸売・小売業	120	5.0%	10.8%	32.5%	20.8%	24.2%	6.7%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業	14	0.0%	0.0%	64.3%	28.6%	0.0%	7.1%
飲食店・宿泊業	74	10.8%	23.0%	35.1%	12.2%	16.2%	2.7%
医療・福祉	6	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
教育・学習支援業	6	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%
その他	98	4.1%	5.1%	43.9%	20.4%	18.4%	8.2%
不明	4	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%
計	465	5.2%	12.5%	39.1%	19.4%	17.2%	6.7%

業種別「前年同月と今年同月」の売上比較

●売上動向が悪い（売上が減少）業種別順位

「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「医療・福祉」50.0%→「卸売・小売業」45.8%→「飲食店・宿泊業」43.3%→「その他」37.7%→「建設業」及び「不動産業」35.7%→「製造業」34.0%→「運輸業」12.5%→「金融・保険業」及び「教育・学習支援業」0%。

●「売上が増加」と「売上が減少」との評価のマイナス差が大きい業種の企業の順位

「電気・ガス・熱供給・水道業」及び「情報通信業」－50.0ポイント→「運輸業」－37.5ポイント→「その他」－27.5ポイント→「卸売・小売業」－34.1ポイント→「医療・福祉」33.3ポイント→「飲食店・宿泊業」－25.7ポイント→「建設業」－21.4ポイント→「不動産業」－14.3ポイント→「製造業」－10.6ポイント→「金融・保険業」＋33.3ポイント→「教育・学習支援業」＋50.0ポイント。

表 23 業種別「前年同月と今年同月」の売上比較

業 種	回答数	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
建設業	70	4.3%	10.0%	41.4%	14.3%	21.4%	8.6%
製造業	47	4.3%	19.1%	34.0%	14.9%	19.1%	8.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	7.7%	30.8%	30.8%	23.1%	7.7%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	12.5%	37.5%
卸売・小売業	120	2.5%	9.2%	25.0%	25.0%	20.8%	17.5%
金融・保険業	3	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業	14	0.0%	21.4%	35.7%	28.6%	7.1%	7.1%
飲食店・宿泊業	74	2.7%	14.9%	33.8%	23.0%	20.3%	5.4%
医療・福祉	6	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%
教育・学習支援業	6	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	98	3.1%	7.1%	37.8%	17.3%	20.4%	14.3%
不明	4	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%
計	465	3.2%	11.8%	33.5%	19.8%	19.8%	11.8%

生産・出荷量動向（平成 27 年 8 月と平成 28 年 8 月の比較）

●「全体」

「生産・出荷量が増加」（“増加した”＋“やや増加した”）13.4%。「生産・出荷量が減少」（“減少した”＋“やや減少した”）30.8%。「生産・出荷量が増加」と「生産・出荷量が減少」の差－17.4ポイント。

業種別生産・出荷量動向

●「生産・出荷量が減少した」業種の順位

「電気・ガス・熱供給・水道業」及び「情報通信業」50.0%→「製造業」27.6%→「卸売・小売業」及び「不明」25.0%→「建設業」17.1%→「飲食店・宿泊業」14.9%→「その他」4.1%→「運輸業」「金融・保険業」「不動産業」「医療・福祉」及び「教育・学習支援業」0%

●「生産・出荷量が減少した」と「生産・出荷量が増加した」の差が大きい業種の順位

「電気・ガス・熱供給・水道業及び「情報通信業」50.0ポイント→「卸売・小売業」12.5ポイント→「その他」10.2ポイント→「建設業」10.0ポイント→「飲食店・宿泊業」4ポイント→「製造業」2.1ポイント→「金融・保険業」「不動産業」及び「不明」0ポイント

表 24 業種別「対前年同月」生産・出荷量比較

業種	回答数	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
建設業	70	1.4%	5.7%	44.3%	7.1%	10.0%	31.4%
製造業	47	2.1%	23.4%	38.3%	10.6%	17.0%	8.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	0.0%	23.1%	38.5%	15.4%	23.1%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	62.5%
卸売・小売業	120	2.5%	10.0%	25.0%	13.3%	11.7%	37.5%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%
不動産業	14	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	57.1%
飲食店・宿泊業	74	1.4%	9.5%	29.7%	8.1%	6.8%	44.6%
医療・福祉	6	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%
教育・学習支援業	6	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%
その他	98	1.0%	3.1%	29.6%	6.1%	8.2%	52.0%
不明	4	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%
計	465	1.7%	8.8%	31.6%	9.5%	9.7%	38.7%

仕入単価動向（平成 27 年 8 月と平成 28 年 8 月の比較）

★「全体」

「仕入単価が高くなった」（“増加した”＋“やや増加した”）21.7%。「仕入単価が安くなった」（“減少した”＋“やや減少した”）13.7%。「仕入単価が高くなった」と「仕入単価が安くなった」の差+8.0ポイント。

業種別仕入単価動向

●「仕入単価が高くなった」業種の企業が多い順位

「製造業」42.6%→「飲食店・宿泊業」29.7%→「建設業」18.5%→「卸売・小売業」25.0%→「医療・福祉」16.7%及び「教育・学習支援業」16.7%→「その他」12.2%→「金融・保険業」10.9%→「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「運輸業」「不動産業」0%

●「仕入単価が高くなった」と「仕入単価が安くなった」の差が大きい業種の順位

「製造業」38.4ポイント→「建設業」11.4ポイント→「飲食店・宿泊業」20.2ポイント→「医療・福祉」及び「教育・学習支援業」16.7ポイント→「その他」3.0ポイント→「運輸業」及び「卸売・小売業」0ポイント→「不動産業」-7.1ポイント→「情報通信業」-50.0ポイント→「電気・ガス・熱供給・水道業」-61.6ポイント

★この順位は、同業種の中で仕入単価が高騰した企業と下落した企業間格差を示している。

表 25 業種別の「対前年同月」仕入単価の比較

業種	回答数	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
建設業	70	7.1%	11.4%	51.4%	0.0%	7.1%	22.9%
製造業	47	14.9%	27.7%	48.9%	2.1%	2.1%	4.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	0.0%	30.8%	38.5%	23.1%	7.7%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
卸売・小売業	120	3.3%	21.7%	37.5%	10.8%	14.2%	12.5%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%
不動産業	14	0.0%	0.0%	42.9%	7.1%	0.0%	50.0%
飲食店・宿泊業	74	8.1%	21.6%	36.5%	4.1%	5.4%	24.3%
医療・福祉	6	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%
教育・学習支援業	6	16.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%
その他	98	2.0%	10.2%	43.9%	4.1%	5.1%	34.7%
不明	4	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%
計	465	5.4%	16.3%	41.9%	6.0%	7.7%	22.6%

販売単価動向（平成 27 年 8 月と平成 28 年 8 月の比較）

●「全体」

「販売単価が高くなった」（“増加した”＋“やや増加した”）8.4%。「販売単価が安くなった」（“減少した”＋“やや減少した”）15.7%。「販売単価が高くなった」と「販売単価が安くなった」の差-7.3ポイント。

業種別「対前年同月」販売単価動向

●「販売単価が高くなった」業種の順位

「金融・保険業」33.3%→「製造業」17.1%→「教育・学習支援業」16.7%→「卸売・小売業」13.4%→「建設業」5.7%→「飲食店・宿泊業」5.4%→「その他」4.1%→「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「運輸業」「不動産業」及び「医療・福祉」0%

- 「販売単価が高くなった」と「販売単価が安くなった」のプラスの差が大きい業種の企業の順位
「金融・保険業」＋33.3 ポイント→「教育・学習支援業」＋16.7 ポイント→「製造業」＋10.7 ポイント→「医療・福祉」0%

表 26 業種別「対前年同月」販売単価の比較

業種	回答数	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
建設業	70	1.4%	4.3%	52.9%	7.1%	5.7%	28.6%
製造業	47	4.3%	12.8%	72.3%	4.3%	2.1%	4.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	0.0%	46.2%	30.8%	7.7%	15.4%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	0.0%	50.0%	12.5%	0.0%	37.5%
卸売・小売業	120	1.7%	11.7%	46.7%	9.2%	16.7%	14.2%
金融・保険業	3	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%
不動産業	14	0.0%	0.0%	35.7%	21.4%	0.0%	42.9%
飲食店・宿泊業	74	0.0%	5.4%	60.8%	6.8%	2.7%	24.3%
医療・福祉	6	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%
教育・学習支援業	6	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%
その他	98	1.0%	3.1%	44.9%	5.1%	7.1%	38.8%
不明	4	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%
計	465	1.3%	7.1%	51.6%	8.0%	7.7%	24.3%

在庫量動向（平成 27 年 8 月と平成 28 年 8 月の比較）

●「全体」

「在庫量が増加した」（“増加した”＋“やや増加した”）5.0%。

「在庫量が減少した」（“減少した”＋“やや減少した”）16.3%。

「在庫量が増加した」と「在庫量が減少した」の差－11.3 ポイント。

★この減少傾向が、生産・出荷量（販売量）による減少なのか、在庫という無駄を改善するための減少なのかは、このアンケートからは明確にはわからないが、自由回答では生産・出荷量の減少を見越した減少という回答がある。

表 27 地域別「対前年同月」在庫量比較

地域名	回答数	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
阿児町	194	0.5%	4.6%	53.6%	9.3%	7.2%	24.7%
大王町	71	1.4%	4.2%	52.1%	8.5%	5.6%	28.2%
志摩町	85	1.2%	3.5%	44.7%	12.9%	5.9%	31.8%
浜島町	36	0.0%	0.0%	58.3%	11.1%	5.6%	25.0%
磯部町	71	0.0%	5.6%	54.9%	4.2%	11.3%	23.9%
不明	8	12.5%	0.0%	37.5%	12.5%	0.0%	37.5%
計	465	0.9%	4.1%	52.0%	9.2%	7.1%	26.7%

業種別「対前年同月」在庫量動向

●「在庫量が減少した」業種の順位（「不明」は除く）

「卸売・小売業」27.5%→「電気・ガス・熱供給・水道業」23.1%→「製造業」21.3%→「飲食店・宿泊業」13.6%→「建設業」11.4%→「その他」9.1%→「不動産業」7.1%→「情報通信業」「運輸業」「金融・保険業」「医療・福祉」及び「教育・学習支援業」

★この順位は、在庫量が減少した企業の多い業種を示している。

表 28 業種別「対前年同月」在庫量比較

業種	回答数	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
建設業	70	0.0%	1.4%	60.0%	5.7%	5.7%	27.1%
製造業	47	2.1%	14.9%	55.3%	12.8%	8.5%	6.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	0.0%	53.8%	7.7%	15.4%	23.1%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
運輸業	8	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%
卸売・小売業	120	0.8%	6.7%	50.8%	15.0%	12.5%	14.2%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%
不動産業	14	7.1%	0.0%	42.9%	7.1%	0.0%	42.9%
飲食店・宿泊業	74	0.0%	1.4%	59.5%	6.8%	6.8%	25.7%
医療・福祉	6	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%
教育・学習支援業	6	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%
その他	98	1.0%	2.0%	44.9%	7.1%	2.0%	42.9%
不明	4	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
計	465	0.9%	4.1%	52.0%	9.2%	7.1%	26.7%

時間外労働時間動向（平成 27 年 8 月と平成 28 年 8 月の比較）

●「全体」

「時間外労働時間が増加した」（“増加した”＋“やや増加した”）7.3%。

「時間外労働時間が減少した」（“減少した”＋“やや減少した”）14.6%。

「時間外労働時間が増加した」と「時間外労働時間が減少した」の差－7.3ポイント。

業種別「対前年同月」時間外労働時間動向

●「時間外労働時間が減少した」業種の順位

「電気・ガス・熱供給・水道業」30.8%→「飲食店・宿泊業」17.6%→「建設業」15.7%→「卸売・小売業」15.0%→「製造業」14.9%→「運輸業」12.5%→「その他」→「不動産業」7.1%→「情報通信業」「金融・保険業」「医療・福祉」及び「教育・学習支援業」0%

★この順位は、時間外労働時間が減少した企業の多い業種を示している。

表 29 業種別「対前年同月」時間外労働時間比較

業種	回答数	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
建設業	70	1.4%	4.3%	62.9%	5.7%	10.0%	15.7%
製造業	47	0.0%	14.9%	66.0%	8.5%	6.4%	4.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	7.7%	46.2%	15.4%	15.4%	15.4%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
運輸業	8	0.0%	25.0%	37.5%	0.0%	12.5%	25.0%
卸売・小売業	120	0.8%	6.7%	58.3%	5.8%	9.2%	19.2%
金融・保険業	3	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業	14	0.0%	7.1%	50.0%	7.1%	0.0%	35.7%
飲食店・宿泊業	74	1.4%	4.1%	55.4%	10.8%	6.8%	21.6%
医療・福祉	6	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%
教育・学習支援業	6	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	98	2.0%	1.0%	51.0%	3.1%	9.2%	33.7%
不明	4	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%
計	465	1.3%	6.0%	57.0%	6.2%	8.4%	21.1%

従業員数動向（平成 27 年 8 月と平成 28 年 8 月の比較）

●「全体」

「正規従業員数が増加した」（“増加した”＋“やや増加した”）2.8%。

「正規従業員数が減少した」（“減少した”＋“やや減少した”）6.6%。

★「正規従業員数が増加した」と「正規従業員数が減少した」の差－3.8 ポイント。

「非正規従業員数が増加した」（“増加した”＋“やや増加した”）2.6%。

「非従業員数が減少した」（“減少した”＋“やや減少した”）6.0%。

★「非正規従業員数が増加した」と「非正規従業員数が減少した」の差－3.4 ポイント。

業種別「対前年同月」従業員動向

●「正規従業員が増加した」業種の順位（「不明」は除く）

「建設業」15.7%→「運輸業」12.5%→「不動産業」7.1%→「飲食店・宿泊業」6.8%→「製造業」6.4%→「卸売・小売業」5.9%→「その他」2.0%→「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「医療・福祉」及び「教育・学習支援業」0%

●「非正規従業員が増加した」業種の順位（「不明」は除く）

「飲食店・宿泊業」9.5%→「製造業」8.5%→「電気・ガス・熱供給・水道業」7.7%→「建設業」7.2%→「卸売・小売業」5.9%→「その他」3.0%→「情報通信業」「運輸業」「金融・保険業」「不動産業」「医療・福祉」及び「教育・学習支援業」0%。

●「正規従業員が増加した」と「正規従業員が減少した」のマイナスの差が大きい業種の順位

「建設業」-12.8 ポイント→「運輸業」-12.5 ポイント→「不動産業」-7.1 ポイント→「飲食店・宿泊業」-5.4 ポイント→「卸売・小売業」-1.8 ポイント→「その他」-1 ポイント

●「非正規従業員が増加した」と「非正規従業員が減少した」のマイナスの差が大きい業種の順位

「飲食店・宿泊業」-6.7 ポイント→「卸売・小売業」-5.9 ポイント→「建設業」-5.8 ポイント→「その他」-1 ポイント。

★差がプラスの大きい業種

「医療・福祉」+16.7→「製造業」+2.1 ポイント

★この従業員数の順位は、正規従業員の代替として非正規従業員が雇用調整の手段となっている業種の大きい順を示している。

表 30 業種別「対前年同月」の正規従業員数の比較

業種	回答数	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
建設業	70	0.0%	2.9%	67.1%	7.1%	8.6%	14.3%
製造業	47	0.0%	6.4%	63.8%	4.3%	2.1%	23.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	7.7%	53.8%	0.0%	0.0%	38.5%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
運輸業	8	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	12.5%	12.5%
卸売・小売業	120	0.8%	3.3%	60.8%	4.2%	1.7%	29.2%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%
不動産業	14	0.0%	0.0%	71.4%	7.1%	0.0%	21.4%
飲食店・宿泊業	74	0.0%	1.4%	62.2%	4.1%	2.7%	29.7%
医療・福祉	6	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%
教育・学習支援業	6	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	98	1.0%	0.0%	59.2%	0.0%	2.0%	37.8%
不明	4	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%
計	465	0.4%	2.4%	62.6%	3.4%	3.2%	28.0%

表 31 業種別「対前年同月」の非正規従業員数の比較

業種	回答数	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
建設業	70	0.0%	1.4%	54.3%	2.9%	4.3%	37.1%
製造業	47	0.0%	10.6%	51.1%	6.4%	2.1%	29.8%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	7.7%	38.5%	7.7%	0.0%	46.2%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
運輸業	8	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	62.5%
卸売・小売業	120	0.0%	0.0%	48.3%	4.2%	1.7%	45.8%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%
不動産業	14	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	42.9%
飲食店・宿泊業	74	1.4%	1.4%	60.8%	4.1%	5.4%	27.0%
医療・福祉	6	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%
教育・学習支援業	6	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	98	1.0%	1.0%	50.0%	2.0%	1.0%	44.9%
不明	4	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%
計	465	0.4%	2.2%	52.5%	3.4%	2.6%	38.9%

表 32 企業形態別「対前年同月」の正規従業員数の比較

企業形態	回答数	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
個人企業	313	0.3%	0.6%	58.1%	3.2%	2.2%	35.5%
株式会社	47	0.0%	12.8%	70.2%	4.3%	4.3%	8.5%
有限会社	85	1.2%	2.4%	81.2%	3.5%	4.7%	7.1%
その他法人	11	0.0%	9.1%	36.4%	0.0%	18.2%	36.4%
不明	9	0.0%	0.0%	33.3%	11.1%	0.0%	55.6%
計	465	0.4%	2.4%	62.6%	3.4%	3.2%	28.0%

現在の従業員数の過不足感

●「全体」

「正規従業員数が過剰」（“過剰”＋“やや過剰”）4.1%。

「正規従業員数が不足」（“不足”＋“やや不足”）12.9%。

「正規従業員数が不足」と「非正規従業員数が過剰」との差＋8.8ポイント。

「非正規従業員数が過剰」（“過剰”＋“やや過剰”）3.3%。

「非従業員数が不足」（“不足”＋“やや不足”）10.7%。

「正規従業員数が不足」と「非正規従業員数が過剰」の差＋7.4ポイント。

業種別「対前年同月」現在の従業員数の過不足感

●「正規従業員が過剰」の大きい業種の企業の順位（「不明」は除く）

「運輸業」12.5%→「飲食店・宿泊業」5.5%→「その他」5.1%→「製造業」4.3%→「卸売・小売業」3.3%→「建設業」1.4%→「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産業」「医療・福祉」及び「教育・学習支援業」0%。

●「非正規従業員が過剰」の大きい業種の企業の順位（「不明」は除く）

「運輸業」12.5%→「製造業」6.4%→「飲食店・宿泊業」4.1%→「その他」5.1%→「卸売・小売業」2.5%→「建設業」1.4%→「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産業」「医療・福祉」及び「教育・学習支援業」0%。

●「正規従業員が不足」と「正規従業員が過剰」の差のプラスが大きい業種の順位

「情報通信業」＋50.0ポイント→「金融・保険業」＋33.3ポイント→「不動産業」＋21.4ポイント→「製業」＋19.1ポイント→「建設業」＋18.6ポイント→「教育・学習支援業」＋16.7ポイント→「電気・ガス・熱供給・水道業」＋15.4ポイント→「運輸業」＋12.5ポイント→「飲食店・宿泊業」＋6.7ポイント→「卸売・小売業」＋3.4ポイント→「その他」＋3.1ポイント。

●「非正規従業員が不足」と「非正規従業員が過剰」の差のプラスが大きい業種の順位

「情報通信業」及び「運輸業」＋50.0%→「医療・福祉」＋33.4ポイント→「教育・学習支援業」＋16.7ポイント→「建設業」＋12.9ポイント→「製造業」＋12.8ポイント→「電気・ガス・熱供給・水道業」＋7.7ポイント→「不動産業」＋7.1ポイント→「卸売・小売業」＋5.8ポイント→「飲食店・宿泊業」＋5.4ポイント→「その他」＋3.1ポイント

●“適正”（現状維持）の大きい順位

①正規従業員の場合

「医療・福祉」＋83.3%→「教育・学習支援業」及び「金融・保険業」66.7%→「不動産業」64.3%→「建設業」62.9%→「卸売・小売業」62.5%→「運輸業」62.5%→「飲食店・宿泊業」51.4%→「電気・ガス・熱供給・水道業」53.8%→「情報通信業」50.0%→「その他」49.0%→「製造業」44.7%

●非正規従業員の場合

「金融・保険業」66.7%→「電気・ガス・熱供給・水道業」53.8%→「情報通信業」「飲食店・宿泊業」及び「医療・福祉」50.0%→「建設業」44.3%→「卸売・小売業」41.7%→「製造業」40.3%→「不動産業」35.7%→「教育・学習支援業」33.3%→「運輸業」25.0%

表 33 事業者の「現在の正規従業員数の過不足感」

業種	回答数	不足	やや不足	適正	やや過剰	過剰	不明
建設業	70	7.1%	12.9%	62.9%	1.4%	0.0%	15.7%
製造業	47	6.4%	17.0%	44.7%	4.3%	0.0%	27.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	15.4%	53.8%	0.0%	0.0%	30.8%
情報通信業	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%
卸売・小売業	120	2.5%	4.2%	64.2%	3.3%	0.0%	25.8%
金融・保険業	3	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業	14	0.0%	21.4%	64.3%	0.0%	0.0%	14.3%
飲食店・宿泊業	74	5.4%	6.8%	51.4%	1.4%	4.1%	31.1%
医療・福祉	6	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%
教育・学習支援業	6	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%
その他	98	3.1%	5.1%	49.0%	3.1%	2.0%	37.8%
不明	4	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%
計	465	3.9%	9.0%	56.1%	2.8%	1.3%	26.9%

表 34 事業者の「現在の非正規従業員数の過不足感」

業種	回答数	不足	やや不足	適正	やや過剰	過剰	不明
建設業	70	4.3%	10.0%	44.3%	1.4%	0.0%	40.0%
製造業	47	6.4%	12.8%	40.4%	6.4%	0.0%	34.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	7.7%	53.8%	0.0%	0.0%	38.5%
情報通信業	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	62.5%
卸売・小売業	120	2.5%	5.8%	41.7%	2.5%	0.0%	47.5%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%
不動産業	14	0.0%	7.1%	35.7%	0.0%	0.0%	57.1%
飲食店・宿泊業	74	4.1%	5.4%	50.0%	0.0%	4.1%	36.5%
医療・福祉	6	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%
教育・学習支援業	6	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%
その他	98	3.1%	5.1%	42.9%	3.1%	0.0%	45.9%
不明	4	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%
計	465	3.4%	7.3%	43.4%	2.4%	0.9%	42.6%

設備投資意欲

●「全体」

「設備投資意欲が高まった」（“高まった”＋“やや高まった”）10.3%。

「設備投資意欲が後退した」（“後退した”＋“やや後退した”）23.9%。

「設備投資意欲が後退した」と「設備投資意欲が高まった」との差＋13.6ポイント。

「わからない」7.7%。

表 35 設備投資意欲

地域名	回答数	高まった	やや高まった	現状維持	やや後退した	後退した	わからない	不明
阿児町	194	1.5%	8.8%	54.6%	7.7%	12.9%	7.7%	7.2%
大王町	71	0.0%	7.0%	36.6%	14.1%	21.1%	11.3%	9.9%
志摩町	85	5.9%	8.2%	47.1%	7.1%	11.8%	9.4%	10.6%
浜島町	36	8.3%	11.1%	36.1%	8.3%	22.2%	5.6%	8.3%
磯部町	71	1.4%	2.8%	53.5%	9.9%	15.5%	4.2%	12.7%
不明	8	12.5%	0.0%	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%
計	465	2.8%	7.5%	48.8%	8.8%	15.1%	7.7%	9.5%

業種別設備投資意欲

●「設備投資意欲が後退した」業種の順位

「情報通信業」50.0%→「製造業」34.1%→「電気・ガス・熱供給・水道業」30.8%→「飲食店・宿泊業」29.8%→「卸売・小売業」27.5%→「建設業」25.7%→「教育・学習支援業」16.7%→「不動産業」14.2%→「医療・福祉」13.2%「運輸業」12.5%→「その他」5.1%→「金融・保険業」0%

●「設備投資意欲が後退した」と「設備投資意欲が高まった」とのプラス差の大きい業種順位

「情報通信業」+50.0ポイント→「製造業」+27.7ポイント→「教育・学習支援業」+16.7ポイント→「卸売・小売業」+19.1ポイント→「飲食店・宿泊業」+16.3ポイント→「電気・ガス・熱供給・水道業」+15.4ポイント→「建設業」+14.3ポイント→「運輸業」+12.5ポイント→「その他」+3.0ポイント

★マイナス差の大きい業種順位

「医療・福祉」-33.3ポイント→「不動産業」-0.1ポイント→「金融・保険業」0ポイント

●“わからない”業種の順位

「教育・学習支援業」50.0%→「運輸業」25.0%→「その他」11.2%→「卸売・小売業」9.2%→「建設業」及び「製造業」4.3%「飲食店・宿泊業」4.1%→「運輸業」→他の業種0%。

表 36 業種別設備投資意欲構成比

業種	回答数	高まった	やや高まった	現状維持	やや後退した	後退した	わからない	不明
建設業	70	4.3%	7.1%	48.6%	11.4%	14.3%	4.3%	10.0%
製造業	47	0.0%	6.4%	46.8%	12.8%	21.3%	4.3%	8.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	7.7%	7.7%	46.2%	15.4%	15.4%	0.0%	7.7%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%
卸売・小売業	120	4.2%	4.2%	44.2%	9.2%	18.3%	9.2%	10.8%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業	14	0.0%	14.3%	57.1%	7.1%	7.1%	0.0%	14.3%
飲食店・宿泊業	74	0.0%	13.5%	45.9%	12.2%	17.6%	4.1%	6.8%
医療・福祉	6	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育・学習支援業	6	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%
その他	98	3.1%	7.1%	54.1%	2.0%	11.2%	11.2%	11.2%
不明	4	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
計	465	2.8%	7.5%	48.6%	8.8%	15.1%	7.7%	9.5%

現在の取引金融機関の融資姿勢

●「全体」

「融資姿勢が積極的」（“積極的”＋“やや積極的”）13.4%。
「融資姿勢が消極的」（“消極的”＋“やや消極的”）10.8%。
「融資姿勢が消極的」と「融資姿勢が積極的」との差+2.6ポイント。

★“現状維持”の58.1%が最も大きい。

業種別現在の取引金融機関の融資姿勢

●「融資姿勢が積極的」業種の順位

「製造業」17.1%→「卸売・小売業」13.3%→「建設業」12.8%→「運輸業」12.5%→「電気・ガス・熱供給・水道業」7.7%→「不動産業」7.1%→「その他」7.1%→「飲食店・宿泊業」6.8%→「情報通信業」「金融・保険業」「医療・福祉」及び「教育・学習支援業」0%

●「融資姿勢が積極的」と「融資姿勢が消極的」とのプラス差の大きい業種順位

「建設業」+1.3ポイント→「運輸業」+12.5ポイント→「製造業」+6.5ポイント→「卸売・小売業」+1.7ポイント

表 37 回答事業者の志摩市全地域における業種別現在の取引金融機関の融資姿勢構成比

業種	回答数	積極的	やや積極的	変化ない	やや消極的	消極的	不明
建設業	70	5.7%	7.1%	61.4%	2.9%	8.6%	14.3%
製造業	47	4.3%	12.8%	57.4%	2.1%	8.5%	14.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	7.7%	61.5%	15.4%	0.0%	15.4%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	12.5%	75.0%	0.0%	0.0%	12.5%
卸売・小売業	120	2.5%	10.8%	56.7%	5.8%	5.8%	18.3%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業	14	0.0%	7.1%	71.4%	7.1%	7.1%	14.3%
飲食店・宿泊業	74	0.0%	6.8%	60.8%	6.8%	12.2%	13.5%
医療・福祉	6	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%
教育・学習支援業	6	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%
その他	98	2.0%	5.1%	52.0%	4.1%	11.2%	25.5%
不明	4	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%
計	465	2.4%	8.4%	58.3%	5.2%	8.2%	17.8%

上記の個別企業の経営状況についての質問で、「やや過剰」「過剰」、「やや後退した」「後退した」及び「やや消極的」「消極的」と回答した理由

●自由回答：113件→①売上23件、②生産・出荷量4件、③仕入単価3件、④販売単価2件、⑤在庫量4件、⑥時間外労働時間4件、⑦従業員数2件、⑧現在の従業員数の過不足4件、⑨設備投資意欲8件、⑩金融機関の融資姿勢6件、⑪共通事項21件、⑫その他 計32件。

●主な内容：「人口減と少子高齢化」「若者の流出」「公共事業の削減」「消費者の節約傾向」及び「大型店の進出」や「チェーン店の旬出」等といった企業の外部環境の変化に理由を求める意見が多数。

表 38 回答事業者の景気状況・経済状況が悪くなった項目別理由

質問項目	具体的な理由
①売上	1. 来客数が減少した。 2. 来店者数が減少したので物が売れない。 3. 持ち帰り注文がなくなった。 4. 販売額減少した。 5. テークアウトが減少。 6. 釣り客が減少した。 7. 他店舗が増え、客数が分散化して、客数が減ったため。 8. 人口の減少により、売上高が見込めない。 9. 志摩市には注文住宅を建築する人が少ない。大手のハウスメーカーが多くの商材を搬入する。 10. 公共事業の工事落札ができないため。 11. 業界全体の売上縮小に伴い仕事が減少していく状態。 12. 客数は減り続けている。生徒募集しても集まらない。 13. 売上は、8月はお盆のため、7月よりは下がる。 14. ジャスコやホームセンターなどの安店に買いに行くので客数が減り、町の店は困っている。 15. 客が他地区へ流れたため。 16. 客数が50～100人程度減少した。 17. サミット開催前は、志摩地域全体に目を向けてくれる観光客も多かったが、開催後はマスコミ等で取り上げられた地域への集中が見られ、その他の地域は減使用している。 18. 客数が減ったため（八月の2週間は多くて例年並みであったが後の週はすくなくった） 19. 客が高齢になり、来店できなくなったように思う。 20. 大口の注文が入らなかった。 21. 天候不順のため、在庫が確保できず、売上も減少した。 22. 設備投資意欲の悪化・売上減。 23. 将来に対して不安があるため。
②生産・出荷量	1. 漁獲高の加減。 2. 総収入が少ないためか。コンビニや大型店に押されて、田舎は、少し不設備投資意欲。高齢者も多い。 3. 設備の修理が必要。 4. 将来に対して不安があるため。
③仕入単価	1. 年々、仕入高、売上高が減少している。 2. 海水客が減ったのと仕入単価が高くなった。 3. 原料単価がものすごく値上がりした。
④販売単価	1. 客数が減少したのと、個々の売上単価が少なくなった。 2. 販売単価は観光客でもランチばかりでいせえびとかアワビは食べない。
⑤在庫量	1. 仕入を調整したため。 2. 売上が落ちたので在庫を減らした。悪循環。 3. 在庫量を極力抑え、身軽にした。 4. 天候不順のため、在庫が確保できず、売上も高まった。
⑥時間外労働時間	1. 時間外労働時間は仕事量が高まったため、減った。 2. 真珠養殖業者が減少したので仕事が減った。 3. 大口の注文が入らなかった。 4. 仕事量の減少。
⑦従業員数	1. 設備投資意欲数については売上減のため少なくしたが、それでも採用予定数があつまらないので設備投資意欲が減った。 2. 設備投資意欲数については売上減のため少なくしたが、それでも採用予定数が集まらない。
⑧現在の従業員数の過不足	1. 若い人の働く場所を作っていく地元で働きたい若者を雇用し、売上は少しずつあがってきたが、サミットの交通規制があり、一時的にダウンした。 2. 従業員数は、仕事の時期による。 3. 人手減ったので、営業日数を減らした。 4. 報酬単価が上がった。
⑨設備投資意欲	1. 投資したい設備等がない。 2. 受注量減少するとどうしても融資を増やすことはできない。 3. 個人事業の場合、税率が高く、税金で苦しんでいる。売上が上がってもその分税金が多くなりすぎて投資までいかない。 4. 人件費確保のため、設備投資は抑えている。 5. 先が見通せないのにあほらしい。 6. 件数は前年より増えたが、少額の事業ばかりである。

質問項目	具体的な理由
	7. 売上向上が見込めないため。 8. 売上減による設備投資意欲悪化。
⑩金融機関の融資姿勢	1. 銀行に活気がないように感じる。 2. 銀行側の見方が違うような気がする。 3. 銀行がたまに来る。 4. 融資の基準をもっと低くして欲しい。 5. マイナス金利の影響らしい。 6. 以前は人を信頼してお金を貸してくれたが、今はその時の経営の数字だけで判断し、先をみることをしない。
⑪共通	1. 客数が減ったため(21件)。
⑪その他	1. 誘致対策後退した 2. 人が減っている 3. 販売員の高齢化で稼働勤務時間が減ったので、客数も減ってしまった。 4. 年齢を考えると自信が無い。 5. 何もかも後退した。 6. 店主が高齢化するにともない年々仕事が減っている。 7. 造船所が仕事先だが、伊勢にあった造船所（6～7）が全て閉鎖のため。 8. 人口減った。また、消費税、行政ありきの政策のため。 9. 人口減少。 10. 人口減・高齢化の進展で投資しても今後どうなるか希望が持てない。 11. 志摩市に活気がない。 12. 自分自身が高齢化した。 13. 仕事量の減少。 14. 仕事が減っても発注経費は発生するから。 15. サミットは設備投資意欲に影響していない。人口減少が一番の要因。 16. サミットで高まった影響もあると思うが地域間・業種感格差が出ている。お客が高齢者のため来られなくなった。り悔悟施設等へ行ったりして顧客の減少。お店の高まったでついでに立ち寄り客が減った。 17. サミット効果を期待したが駄目だった。 18. 高齢のため営業を続けることが難しい。 19. 後継者がいないため、何事にも消極的。継続を臨まれるリピーターが多いが年齢には限りがある。減少したのは、年齢により仕事の種類が限られてきた。 20. クリーニング業界の設備は、大型化する一方で、小規模店用の機会は機械メーカーからなくなっています。個人・家族だけの零細経営は全国的にできなくなってきている。 21. 客が来なければ店の品揃えもできず、赤字ばかりの店ではすでに無理なことばかりでした。 22. 過疎化。 23. お客に会う機会をつくり、今まで以上に売上を増やす努力をしているため、現状維持できている。 24. 大手住宅メーカーとのつながりが無いので仕事が少なくなった 25. お客が来ないのだからお店は流れに任せとくしかない。このままだと閉店。 26. あまり規制があるので、サミットにより客足が遠のいた。 27. 暑い日が多く、仕事を。辞め体を休める日が多かった。 28. 暑い夏で、客数が高まった、オーダー減。 29. 高齢でインターネットが使えないため。 30. 人口減と高齢化で収入減。 31. 未来の志摩市のため、若者の雇用を市民の一人として協力する人が増えてきている。
計	113件

伊勢志摩サミットの波及経済効果と地域の活性化

●「全体」

「波及経済効果があった」〈「波及効果があった」（“ある”＋と“少しある”）〉30.1%。
 「波及経済効果がなかった」〈「波及効果がない」（“ない”＋と“あまりない”）〉37.9%。
 「波及経済効果があった」と「波及経済効果がなかった」との差-7.8ポイント。

★ “どちらともいえない” 26.5%が最も大きい。

地域別伊勢志摩サミットの波及経済効果と地域の活性化

●伊勢志摩サミットによる「波及経済効果があった」地域の順位

阿児町 37.6%→浜島町 27.8%→大王町及び磯部町 25.3%→志摩町 22.3%

●「波及経済効果があった」と「波及経済効果がなかった」とのプラス差の地域の順位

阿児町+5.2ポイント→浜島町+2.8ポイント→磯部町-18.3ポイント→大王町-21.2ポイント→志摩町-27.1ポイント

表 39 地域別志摩市地域経済への波及効果

地域名	回答数	ある	少しある	どちらともいえない	あまりない	ない	不明
阿児町	194	8.2%	29.4%	26.8%	17.5%	13.9%	4.1%
大王町	71	5.6%	19.7%	25.4%	18.3%	28.2%	2.8%
志摩町	85	8.2%	14.1%	22.4%	23.5%	25.9%	5.9%
浜島町	36	2.8%	25.0%	41.7%	11.1%	13.9%	5.6%
磯部町	71	2.8%	22.5%	21.1%	21.1%	22.5%	9.9%
不明	8	12.5%	12.5%	50.0%	0.0%	0.0%	37.5%
計	465	6.7%	23.4%	26.5%	18.5%	19.4%	5.8%

業種別伊勢志摩サミットの波及経済効果と地域の活性化

●「波及経済効果があった」企業が多かった業種の順位

金融・保険業+33.4ポイント→医療・福祉+16.7ポイント→飲食店・宿泊業+2.6ポイント。

★基本的に、志摩市の小規模事業者は、地域密着型（地域内需要型）企業といえよう。伊勢志摩サミットによる最も「波及経済効果があった」旧阿児町においても、波及経済効果があった業種は、飲食店・宿泊業のみであり、その他の業種は、「波及経済効果がなかった」と回答している。

表 40 業種別志摩市地域経済への波及経済効果

業種	回答数	ある	少しある	どちらともいえない	あまりない	ない	不明
建設業	70	5.7%	24.3%	22.9%	21.4%	21.4%	4.3%
製造業	47	4.3%	21.3%	29.8%	23.4%	17.0%	4.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	15.4%	7.7%	38.5%	15.4%	23.1%	0.0%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	25.0%	12.5%	50.0%	12.5%	0.0%
卸売・小売業	120	4.2%	26.7%	21.7%	15.8%	24.2%	7.5%
金融・保険業	3	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
不動産業	14	7.1%	14.3%	42.9%	21.4%	7.1%	7.1%
飲食店・宿泊業	74	8.1%	27.0%	27.0%	20.3%	12.2%	5.4%
医療・福祉	6	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%
教育・学習支援業	6	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
その他	98	9.2%	18.4%	31.6%	13.3%	21.4%	6.1%
不明	4	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
計	465	6.7%	23.4%	26.5%	18.3%	19.4%	5.8%

伊勢志摩サミットの波及経済効果“あまりない”および“ない”と回答した理由

●自由回答：130件→小規模事業者はサミットに関係がない地域密着型（地域内需要型）企業であるという趣旨の回答と集客イベントと同様に報道等により期待した結果、客数が期待ほどではなかったという趣旨の回答が多くを占めている。

表 41 伊勢志摩サミットが地域経済への波及経済効果がなかったとした理由

理由の具体的な内容
1. 一部が儲かっているだけで、志摩市としては変化無しで何も潤っていない。 2. 一部はあると思うが、大多数があまり無いと思う。 3. 一過性で直後は話題になったが今は話題にならない。 4. いつまでもサミット効果は続かない。今年で終わりそう。伊勢神宮は別として。 5. インフラ、サービス業が儲けただけ。 6. 売上に貢献していない。 7. 売上の多くは海外からである。 8. 観光が訪れる目的にあてはまらない。 9. 恩恵を受けている業種でなければ、多くの人の興味、購買を受けていないと思う。 10. 会場として使用されたホテルやそれに関連した業者、メディアに取り上げられたモノ、サミット成功の手柄については効果があったと思うが、現時点では、観光業とその周囲のみに限定されているように思います。間接的な影響はこれから期待したいところですが、服飾業への効果は期待できなかった。 11. 外部の人ではなく、地元の人を対象とした業種なので、少しの効果でしかなかった。このことで、波及 12. 効果が期待できなかった。 13. 関係のある業種ではない。 14. 関係の無い業種だから。 15. 観光関係は効果があると思うが自社には関係ない。 16. 観光客では土産物や飲食・宿泊代にしかお金を使わない。人々の給料が上がるのはまだまだだろうから、消費は伸びない。地域の景気が良くなれば、老人にもお金がまわるかもしれませんが、まだまだ若い人も楽にはならないと思うから無理だと思う。 17. 観光客は一定の場所だけにとどまっているだけなので、業界全体には関係が無い。 18. 観光客は増えたかもしれないが、その観光客が釣をすることが少ないので直接的な恩恵は受けていない。 19. テレビ等で宣伝したわりには集客は増えていない。 20. 観光自体良くなった印象がない。 21. 客足が悪く他の業種も自分中心主義が多く駄目。 22. 客がすくない。 23. 客数の減少。 24. 観光客などあまりみない。 25. 観光客が増えたと思えない。 26. 観光客が少ない。 27. 観光客が増加したとは思えない。 28. 観光客が多少増えたとして、海産物の消費も少しは増えたとしても、私どもの業種まで届くとは到底思えない。 29. 観光客が増えたと思えない。高額品の販売増加につながっていない。 30. お客が来ない。 31. 客数は例年並み。 32. 効果があるという根拠がわからない。本当に観光客が増えているか疑問です。大手のホテルだけが潤っているのではないかと感じてしまう。もっと滞在型リゾートとして、世界に発信し、その魅力の創造に努力していかなければならない。 33. 業界による。 34. 業種が一般的でない特殊な業種のため。 35. 業種的にサミットに関係が無い。 36. 近鉄とおかげ横丁は別だが、サミットはやってよかったと思うが、景気には無関係に終わった。おかげ横丁の企業努力は、すばらしい。 37. 国の主催するサミットは地方には関係ない。 38. 建築関係まで効果無し。 39. 効果を求めるための努力が必要で待っていても来ない。 40. 関連工事が無い。 41. 交通規制で仕事はかどらない。 42. 仕事ができないのは交通規制などによること。 43. 規制で人がいなくなった。

理由の具体的な内容

44. 高齢化と人口減少はサミットと関係が無い。
45. 5月は仕事が伊勢市内でもできず、個人事業なので仕事ができなかったための補償は誰もしてくれない。
46. 宿泊業は補償があって良かったと思う。
47. サミットがあったから志摩の人口が増えたとは思えない。
48. サミット開催前は仕事も多かったが、開催後は非常に少ない。
49. サミット開催中、客足が遠のいた。
50. サミット開催中また前後も観光客の来店はあまりありませんでした。
51. サミットかには後も仕事がない。
52. サミット関係とはあまり関係が無い。
53. サミット決定から地元のお客をあまり見かけなくなった。サミット関係者がいなくなり、景気はさほど良くない。
55. サミット後、観光関係者から明るいニュースが聞こえてこない。
56. サミット自体がそれを無事終わらせることだけに力を入れていたとしか思えない。
57. サミット前とほとんど変わっていない。
58. サミットと関係ない。
59. サミットと関係ない業種だから。
60. サミットと関係ない仕事だから。
61. サミットと関連がないため。
62. サミットと業界の仕事は関係が無い。
63. サミットとは関係の無い業種のため。
64. サミットに関係ない業種のため。
65. サミットに関係ない業種。
66. サミットのおかげで良くなったという話は聞かない。
67. サミットは一時的なこと。
68. サミットは関係ない。
69. サミット前の3～6月の売上が全然駄目でした。
70. 事業自体がサミットの効果が見込めるものではないため。
71. 仕事の内容が市内の業界と異なる。
72. 仕事はサミットと関係なし。国と県の行事があっても売上の増減はない。
73. 仕事は少しあったが、大手企業ばかりだった。
76. 志摩市全体に活気がでなかった。
77. 志摩市で仕事をしていないので関係ない。
79. 志摩市の観光客が増えた気がしない。
80. 賢島という限られた場所だけのことだから。
81. 賢島以外の観光地の状況を見たことがないのですか？
82. 賢島周辺だけが栄えたと思う。
83. 賢島中心だから志摩町全域は不況。
84. 賢島には観光客は来るが大王町には来ない。
85. 旧志摩町まで足を伸ばさない。
88. 旧志摩町内には効果無し。
89. 伊勢志摩サミットは1つか2つの業界のみで、ほとんどの業種には効果がない。とくに、旧志摩町の住民には関係がないに等しい。
90. 人口減少で若い世代がいらないため、太っ腹の人がない。浜島を良くしてやるという勇気のある人材が欲しい。
91. 市民を対象とした商売で波及効果は関係ない。
92. 地元相手に、観光客相手の仕事でないため。
93. 観光客が来ても地元で金を使わない。
94. 商売と関係が無い。
95. 食品と関わる業種でないので効果はない。
96. 新規客がほとんど増えない。顧客単価が下がってという。
97. 人口が増加しないうえに、物も動かない。このような現状にもかかわらず、伊勢市に市の職員たちが住んでいるようでは話にならない。
98. 製造したり販売したりする仕事なので効果は無い。
99. 効果があったという話を聞いたことがない。
100. 地域密着型の仕事なので、サミットで住民が増加しない限り効果は無い。
101. 地区住民対象の仕事であるから。
102. 直接に影響がないので、間接的な効果を期待する
103. 業種が、あまり関係が無い。
104. 同業施設が多いので分散されるから。
105. 何の恩恵も関係もない。

理由の具体的な内容

106. 波及効果があると期待していたが、期待外れであった。
 107. 波及効果がない。
 108. マイナスしかない。
 109. 前も後ろも一部の業種以外全く効果が無い。
 110. 全く効果無し。
 111. 全くサミットに関係ない業種だから。
 112. 美容業には関係ない。
 113. サミットに魅力がなかった。
 114. 自分のサミット関連と関係ない業界にまで波及効果が及ばない。
 115. 伊勢鳥羽中心。志摩は蚊帳の外。
 116. 志摩のイメージが悪い。
 117. 報道で取り上げられたところは、売上を伸ばしているが、その他は変わらない。
 118. 効果あったのは一部の会社のみ。
 119. 波及効果は観光業ではあったかもしれないが業種が関係ないので効果はない。効果や波及効果があったのは、会場となったホテルだけのような気がする。ホテルに集中して、小さな宿には関係ないと思う。
 120. 自社業界はサミットと関係が無い。
 121. 観光産業以外は難しい。施設の充実や働き手が不足（一過性への不安）で地域の底力がでない(全業種で経済的に疲弊している)。
 122. 土産物屋とホテルだけが恵まれたと思う。その他は今までどおり。
 123. 特定業者にかたより過ぎる。
 124. 特化銘柄のみ一人歩きしていた。
 125. 大手にばかり集中して、小さな事業者には効果は乏しかった。
 126. 土木、旅館業、観光産業は若干の景気浮揚があったと思うが、他の産業はない。民宿など一時的な収入はあったかもしれないが、その後は、あまり変わらない。
 127. 警察官がいた時だけ、景気は良かった。

地域別伊勢志摩サミットの自社業界（業種）への波及経済効果

表 42 志摩市市内の業界（業種）への波及経済効果

★個別企業が属する業界（業種）への波及経済効果の質問の回答が、ほとんど自社への波及経済効果の質の回答傾向と同じ結果であったため、アンケート結果については表で記載する。なお、詳細なアンケート調査分析結果は個別企業（自社）への波及経済効果のアンケート結果分析で代替できることから省略した。

業種	回答数	ある	少しある	どちらともいえない	あまりない	ない	不明	A	B	A-B
建設業	70	8.6%	11.4%	35.7%	15.7%	22.9%	5.7%	20.0%	38.6%	-18.6
製造業	47	4.3%	19.1%	38.3%	10.6%	25.5%	2.1%	23.4%	36.2%	-12.8
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	7.7%	23.1%	15.4%	53.8%	0.0%	7.7%	69.2%	-61.5
情報通信業	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	-100.0
運輸業	8	0.0%	0.0%	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%	75.0%	-75.0
卸売・小売業	120	2.5%	12.5%	22.5%	22.5%	34.2%	5.8%	15.0%	56.7%	-41.7
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	-66.7
不動産業	14	0.0%	14.3%	28.6%	21.4%	14.3%	21.4%	14.3%	35.7%	-21.4
飲食店・宿泊業	74	9.5%	28.4%	27.0%	16.2%	14.9%	4.1%	37.8%	31.1%	+6.8
医療・福祉	6	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	66.7%	-66.7
教育・学習支援業	6	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	-66.7
その他	98	6.1%	8.2%	26.5%	16.3%	38.8%	4.1%	14.3%	55.1%	-40.8
不明	4	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	+50.0
計	465	5.4%	14.0%	28.0%	17.8%	29.7%	5.2%	19.4%	47.5%	-28.2

（注）Aは「ある」＋「少しある」、Bは「ない」＋「あまりない」、A－Bの単位はポイント、マイナスは「波及経済効果がなかった」、またプラスは「波及経済効果があった」を表す。

★飲食店・宿泊業及び不明以外の業種は、波及経済効果がなかった。

表 43 サミット波及経済効果がなかった理由

具体的理由
1. 報道で取り上げられたところは売上を伸ばしているが、その他は変わらない 2. あるのは一部の会社のみ。 3. 伊勢志摩サミットは1つか2つの業界のみで、ほとんどの業種には効果がない。とくに、志摩町の住民には関係がないに等しい。 4. 伊勢鳥羽中心。志摩は蚊帳の外。 5. 一部が儲かっているだけで、志摩市としては変化無しで何も潤っていない。 6. 一部はあると思うが、大多数があまり無いと思う。 7. 一過性で直後は話題になったが今は話題にならない。 8. いつまでもサミット効果は続かない。今年で終わりそう。伊勢神宮は別として 9. インフラ、サービス業が儲けただけ。 10. 売上に貢献していない。 11. 売上の多くは海外からである。 12. 大手にばかり集中して、小さな事業者には効果は乏しかった。 13. お客が来ない。 14. 訪れる目的にあてはまらない。 15. 恩恵を受けている業種ではなく、多くの人の興味、購買を受けていないと思う。 16. 会場として使用されたホテルやそれに関連した業者、メディアに取り上げられた物、サミット成功の手柄については効果があったと思うが、現時点では、観光業とその周囲のみに限定されているように思います。間接的な影響はこれから期待したいところですが、服飾業への効果は、期待を持ってないと思います。 17. 外部の人ではなく、地元の人を対象とした業種なので少しの効果でしかなかった。波及効果が期待できないため。 18. 限られた場所だけのことから。 19. 賢島以外の観光地の状況を見たことがないのですか？ 20. 賢島周辺だけが栄えたと思う。 21. 賢島中心だから志摩町は不況。 22. 賢島には観光客は来るが大王には来ない。 23. 関係のある業種ではない。 24. 関係の無い業種だから。 25. 観光関係は効果があると思うが自社には関係ない。 26. 観光客が少ない。 27. 観光客が増加したとは思えない。 28. 観光客が多少増えたとして、海産物の消費も少しは増えたとしても、私どもの業種まで届くとは到底思えない。 29. 観光客が増えたとは思えない。 30. 観光客が増えたとは思えない。高額品の販売増加につながっていない。 31. 観光客では土産物や飲食・宿泊代にしかお金を使わない。人人との給料が上がるのはまだまだだろうから、消費は伸びない。地域の景気が良くなれば、老人にもお金がまわるでしょうが、まだまだ若い人も楽にはならないだろう。 32. 観光客などあまりみない。 33. 観光客は一定の場所だけにとどまっているだけなので、業界全体には関係が無い。 34. 観光客は増えたかもしれないが、その観光客がつりをするのが少ないので直接的な恩恵は受けていない。 35. 観光産業以外は難しい。施設の充実や働き手が不足（一過性への不安）で地域の底力がでない（全業種で経済的に疲弊している）。 36. 観光自体良くなった印象がない。 37. 客足が悪く他の業種も自分中心主義が多く駄目。 38. 客がすくない。 39. 客数の減少。 40. 客数は例年並み。 41. 業界には波及効果がない。 42. 業界による。 43. 業種が一般的でない特殊な業種のため。 44. 業種的にサミットに関係が無い。 45. 近鉄とおかげ横丁は別だが、サミットはやってよかったとおもうが景気には無関係に終わった。おかげ横丁の企業努力は、すばらしい。 46. 国の主催するサミットは地方には関係ない。 47. 警察官がいたほうが良かった。 48. 建築関係まで効果無し。 49. 効果があるという根拠がわからない。本当に観光客が増えているか疑問です。大手のホ 52. テルだけが潤ってい

具体的理由

るのではないかとってしまう。もっと滞在型リゾートとして、世界に発信し、その魅力の創造に努力していかなければならない。

50. 効果を求めるための努力が必要で待っていても来ない。
51. 工事が無い。
52. 交通規制。
53. 交通規制などによること。
54. 高齢化と人口減少はサミットと関係が無い。
55. 五月は仕事が伊勢市内でもできず、個人事業なので仕事ができなかったための補償はだれもしてくれない。宿泊業は補償があつて良かったと思う。
56. サミットがあつたから志摩の人口が増えたとは思えない。
57. サミット開催前は仕事も多かったが、開催後は非常に少ない。
58. サミット開催中、客足が遠のいた。
59. サミット開催中また前後も観光客の来店はあまりありませんでした。
60. サミットかには後も仕事がない。
61. サミット関係とはあまり関係が無い。
62. サミット決定から地元のお客をあまり見かけなくなった。サミット関係者がいなくなり景気はさほど良くない。
63. サミット後、観光関係者から明るいニュースが聞こえてこない。
64. サミット自体がそれを無事終わらせることだけに力を入れていた用にしか思えない。
65. サミット前とほとんど変わっていない。
66. サミットと関係ない。
67. サミットと関係ない業種だから。
68. サミットと関係ない仕事だから。
69. サミットと関連がないため。
70. サミットと業界の仕事は関係が無い。
71. サミットとは関係の無い業種のため。
72. サミットに関係ない業種。
73. サミットに関係ない業種。
74. サミットのおかげで良くなったという話は聞かない。
75. サミットは一時的なこと。
76. サミットは関係ない。
77. サミット前の3～6月ノ売上が全然駄目でした。
78. 事業自体がサミットの効果が見込めるものではないため。
79. 仕事の内容が市内の業界と異なる。
80. 仕事はサミットと関係なし。国と県の行事があつても売上の増減はない。
81. 仕事は少しあつたが、大手企業ばかりだった。
82. 志摩市全体に活気がない。
83. 志摩市で仕事をしていない。
84. 志摩市の観光客が増えた気がしない。
85. 志摩町まで足を伸ばさない。
86. 志摩のイメージが悪い。
87. 志摩町内には効果無し。
88. 市民を対象とした商売で波及効果は関係ない。
89. 地元相手に、観光客相手の仕事でないため。
90. 地元で金を使わない。
91. 商売と関係が無い。
92. 食品と関わる業種でないので効果はない。
93. 新規客がほとんど増えない。顧客単価が下がってという。
94. 人口が増加しないうえに、者も動かない。このような現状にもかかわらず、伊勢市に市の職員たちが住んでいるようでは話にならない。
95. 人口減少で若い世代がいらないため、太っ腹の人がない。浜島を変えてやるといった勇気のある人材が欲しい。
96. 製造したり販売したりする仕事なので効果は無い。
97. そういう話を聞いたことがない。
98. 地域密着型の仕事なので、サミットで住民が増加しない限り効果は無い。
99. 地区住民対象の仕事であるから。
100. 直接に影響がないので、間接的な効果を期待する。
101. あまり関係が無い。
102. テレビ等で宣伝したわりには集客は増えていない。また、自社業界はサミットと関係が無い。同業施設が多いのでお客が分散されているから。

具体的理由

103. 特定業者にかたより過ぎる。
 104. 特化銘柄のみ一人歩きしていた。
 105. 土木、旅館業、観光産業は若干の景気浮揚があったと思うが、他の産業はない。
 106. 何も関係なかった。
 107. 何の恩恵も関係もない。
 108. 何の関係もない。
 109. 波及効果があると期待していたが、期待外れであった。
 110. 波及効果がない業種。
 111. 波及効果は観光業では合ったかもしれないが凝視が関係ないので効果はない。効果や波及効果があったのは、会場となったホテルだけのような気がする。
 112. 人がいない。
 113. 美容業には関係ない。
 114. ホテルに集中して、小さな宿には関係ないと思う。
 115. マイナスしかない
 116. 前も後ろも一部の業種以外全く効果が無い。
 117. 全く関係ない。
 118. 全く効果無し。
 119. 全くサミットに関係ない業種だから。
 120. 土産物屋とホテルだけが恵まれたと思う。その他は今までどおり。
 121. 魅力がなかった。
 122. 民宿など一時的な収入はあったかもしれないが、その後は、あまり変わらない。
- 計 122 件

地域別伊勢志摩サミットの個別企業（自社）への波及経済効果

●全体

“ない” 29.7%→“どちらともいえない” 28.0%→“あまりない” 17.8%→“少しある” 14.0%→“ある” 5.4%→“不明 5.2%の順。

★「波及経済効果がある」19.4%－「波及経済効果がない」47.5%＝－28.1ポイント

●「波及経済効果がなかった」地域順位

磯部町-52.1ポイント→志摩町-51.7ポイント→大王町-39.4ポイント→浜島町-38.9ポイント→阿児町-32.4ポイント。

★前記の志摩市地域経済の活性化への波及経済効果の結果と比較

阿児町（+5.2ポイント→-32.4ポイント）及び浜島町（+2.8ポイント→-38.9ポイント）は「波及経済効果がある」→「波及経済効果がない」へ

★この結果は、個々の企業の現実を踏まえた評価であることから、より現実の地域経済への波及経済効果の有無を表している。

表 44 個別企業（自社）の所在する地域への波及経済効果

地域名	回答数	ある	少しある	どちらともいえない	あまりない	ない	不明
阿児町	194	5.7%	10.8%	30.9%	14.9%	34.0%	3.6%
大王町	71	4.2%	8.5%	29.6%	11.3%	40.8%	5.6%
志摩町	85	5.9%	5.9%	20.0%	17.6%	45.9%	4.7%
浜島町	36	2.8%	8.3%	27.8%	22.2%	27.8%	11.1%
磯部町	71	0.0%	9.9%	23.9%	18.3%	43.7%	4.2%
不明	8	12.5%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	25.0%
計	465	5.4%	14.0%	28.0%	17.8%	29.7%	5.2%

業種別伊勢志摩サミットの個別企業（自社）への波及経済効果

●「波及経済効果があった」業種は不明+25.0ポイント。

●「波及経済効果がなかった」業種は下記のとおり。

「建設業」-31.5ポイント、「製造業」-29.8ポイント、「電気・ガス・熱供給・水道業」-69.2ポイント、「情報通信業」-50.0ポイント、「運輸業」-75.0ポイント、「卸売・小売業」-47.4ポイント、「金融・保険業」-66.7ポイント、「不動産業」-7.2ポイント、「飲食店・宿泊業」-20.3ポイント、「医療・福祉」-66.7ポイント、「教育・学習支援業」-83.3ポイント、「その他」-52.1ポイント）。

表 45 志摩市市内の回答事業者の属する業界（業種）への波及経済効果

業種	回答数	ある	少しある	どちらともいえない	あまりない	ない	不明
建設業	70	7.1%	7.1%	34.3%	10.0%	35.7%	5.7%
製造業	47	4.3%	19.1%	21.3%	17.0%	36.2%	2.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	0.0%	30.8%	15.4%	53.8%	0.0%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
卸売・小売業	120	1.7%	9.2%	23.3%	18.3%	40.0%	7.5%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
不動産業	14	7.1%	21.4%	28.6%	14.3%	21.4%	7.1%
飲食店・宿泊業	74	8.1%	13.5%	33.8%	17.6%	24.3%	2.7%
医療・福祉	6	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
教育・学習支援業	6	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%
その他	98	4.1%	4.1%	25.5%	13.3%	48.0%	5.1%
不明	4	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%
計	465	5.4%	14.0%	28.0%	17.8%	29.7%	5.2%

伊勢志摩サミットの個別企業（自社）への「波及経済効果がなかった」理由

●自社に関する自由回答：130件→小規模事業者はサミットに関係がない地域密着型（地域内需要型）企業であるという趣旨の回答、開催場所のある鵜方周辺のみ波及経済効果があるという趣旨の回答、サミットの規制等で企業活動に支障が出たという趣旨の回答及び集客イベントと同様に報道等により期待した程、客数がなかったという趣旨の回答が多くを占めている。

表 46 サミット波及経済効果がなかった理由

理由の具体的な内容
1. 地区住民対象の仕事であるから。
2. 地元向けの商売のため。
3. 外出お客は地元の高齢者が多いのでサミット効果は関係なし。
4. お客の対象は地元住民なので観光客は関係が無いことから効果なし。
5. 地元民を顧客とした事業のため、サミットの影響はない。
6. 外部の人ではなく、地元の人を対象とした業種なので少しの効果でしかなかった。波及効果が期待できないため。
7. 地元の仕事なのでサミットは関係ない。
8. 地元相手で、観光客相手の仕事でないため。
9. 市民を対象とした商売で波及効果は関係ない。
10. サミットに関係ない業種関係ない業種。
11. サミットとは関係の無い業種のため。
12. サミットと仕事は関係が無い。
13. サミットと関係なし。
14. サミットと関係ない業種のため。
15. サミットと関係ない仕事だから。
16. サミットと関係ない仕事。
17. サミットは関係ない。

理由の具体的な内容

18. サミットで客数は増えなかった。関係がないといえる。ある程度上がったがその後良くない。
19. サミットで客数は増えなかった。関係がないといえる。
20. サミット前後、観光客は増えていない。海外からの客も国内の客も増えていない。他町村の祭りのようであった。関係が無い。
21. 客は固定客が多く、新規にはつながらない。
22. 客数の減少。
23. 客数の減少。
24. 客数の減少。
25. 客数の減。
26. 客数が減った。
27. 客数が減った。
28. 客数が減った。
29. 客数が減った。
30. 宿泊客の人がほんの一部は来ていただきましたが、あとはあんまりかわっていない。今もよく似た状態。
31. サミットは客を呼ぶ客商売ではない。
32. 客がすくない。
33. サミットの開催月の5月は前年度の半分。サミットがあったからといって伊勢志摩へ旅行に来た人は少ない。
34. 月中はお客が来てくれなかった。
35. 大王町、志摩町方面には関係ないから。
36. 賢島の一部の地域に観光客が集中し、大王町への観光客は減少した。
37. 磯部町のお客が入店しない。
38. 会場近くに消費者が来ない。今後も見込めない。
39. 賢島から離れているため、今後も期待できない。
40. 全て客足が最も悪い。
41. 鵜方方面には良かった店もあるだろうが、そこから離れた場所は客も来ない。
42. 船舶の交通規制があり、その間全く船が動かせず、仕事量が激減した。
43. 少ししかサミット関係者が来店しなかった。
44. 人口が増えないと意味が無い。
45. 商品の入手が困難になってきている。
46. サミットがじゃまになっただけ。
47. 規制で仕事日数が減った。
48. サミット当日は閉店しなければならなかった。
49. サミット当日は外出禁止のため、予定していた行事の変更を余儀なくされた。仕事がないのに波及はありえない。
50. 市外・県外の業者が多く、地元の業者にはあまり関係が無かった。
51. サミット前5月20日より交通規制により仕事に影響が及んだ。現場に出る作業班は平日も休日としたり、現地での環境（重機や機器類の撤去など）に作業時間をかけることが多かった。
52. サミット関係の仕事は多かったが、その後仕事は減った。
53. サミット開催月は一番悪かった。6月からも客は以前ほどにならない。
54. サミット開催中また前後も観光客の来店はあまりありません。
55. サミット開催前は仕事も多かったが、開催後は非常に少ない。
56. サミットがあってもなくても、人口減少はとまらない。
57. これといった魅力が無かった。影響はなし。
58. 5月は仕事ができなかった。生活が心配だったが、その後損失を取り戻せない。
59. 高齢化と人口減少はサミットと関係が無い。
60. 交通規制のためお客が来なかった。以前ほど客が来なくなった。
61. 交通規制の影響は少しであった。そりよりも、行政がきっちりした計画や連絡が無かったので嘘やデマに振り回された。このダメージは誰が保証してくれるのか。
62. 交通規制により納品できなかった。信頼関係が損なわれた。
63. 交通規制で迷惑をうけただけ。
64. 交通規制で納品に支障をきたした。別の所に注文すると云われた。
65. 交通規制で納品ができなかった。信用問題となり、逃げた顧客が再度注文してくれるかわからない。
66. 交通規制で仕事が不便でした。何もメリットがなく、今後も効果が出るとは思えない。
67. 交通規制で客数は減った。混雑するから地元の人は外に出るなど規制されたらそうなると思う。サミット期間中、自分の消費も減った。消費が戻りそうにない。
68. 交通規制で家から出られなくなった。観光客はこのイメージがあるから、来てくれないかもしれない。
69. 交通規制、その他納品ができなくて見込んで一週間仕事を休みました。
70. 東京・名古屋が取引。おかげ横町は客数が減少。
71. 工事が無い。

理由の具体的な内容

72. 工事箇所規制がかかるため、仕事ができなく、当社の範囲の工事でもできなかった。信用問題で今後仕事が減らないか心配。
73. 効果を求めるための努力が必要で待っていても来ない。
74. 経済効果がない。
75. 不景気で建築施設やビルなどができない。
76. 県外の客が主で県内客があまりいない。サミットには製造卸のため、直接関係が無い。
77. 警察の移動で渋滞が多くあり、時間に遅れた客は次の予約が入らなくなった。一度離れたお客が戻ってくるだろうか。
78. 警察だけでなく、一般客が来ず困り果てた。4月から6月まで2か月間売上無し。このダメージから立ち直れるか？
79. 警察官がいたほうがまだ良かった。
80. 国の主催するサミットは地方には関係ない。
81. 業務系の需要が減った。不景気に輪をかけた状態であった。立ち直るのには時間がかかる。
83. 業種的にサミットに関係が無い。
84. 観光関係以外の業界には波及効果がない。
85. 観光には来るが消費拡大には至っていない。好景気にならなければ無理。
86. 観光シーズンなのに交通規制で客数が減った。他へ出かけた客が戻りそうにない。
87. 観光客は一定の場所だけにとどまっているだけなので関係が無い。
88. 観光客などあまりみない。今後も増えそうにない。
89. 観光客が利用することがない業種だから、影響はない。
90. 観光客が増えたと思えない。高額品の販売増加につながっていない。
91. 観光関係は効果があると思うが自社には関係ない。
92. 観光関係でないので波及効果はあまりないと思う。
93. 食品と関わる業種でないので効果はない。
94. 小規模施設には全く無関係に感じる。
95. 関係の無い業種だから
96. 関係のある業種ではない。
97. 関係ない仕事から。
98. あまり関係が無い業種。
99. あまり関係が無い仕事だから。
100. 事業自体がサミットの効果が見込めるものではないため。
101. 影響を受ける業種ではない。
102. 売上の多くは海外からである。今後も海外からの観光客が来るのだろうか。
103. 今後も飲食は宿泊所で済ませる感じ。
104. 一般市民の生活にサミット後の変化はない。
105. 以前と変わらない。
106. 今後も効果があるのは一部の会社のみ。
107. 悪い効果ならたくさんありました。納品や集荷の遅れがあり、荷物の出入りの時間は計算できなかったし、混雑や警備等の煩わしさを避けて客足は遠のきました。この客がまだ戻ってこない。
108. 私の住んでいる地区では全く影響がない。
109. レジャー関係の物品販売なので関係が無い。
110. 私の店は旅行客に利用してもらえない。
111. もともと地元のお客を対象としているので、効果はない。
112. 元々、地元の人、特に自動車に乗れない高齢者相手の店だから、効果は無い。
113. 未だに目に見える効果が感じられない。
114. 全くサミットに関係ない業種だから。
115. 全く関係ない。
116. マイナスの材料ばかり。
117. ホテルに集中して、小さな宿には関係ないと思う。
118. 変化はなかった。
119. 普段と変わらない。
120. 人がいないため、客数が減った。
121. 必要とされていなかった。
122. 何の関係もない。何がいいのか？
123. 仕事上何も関係なかった。
124. 土木関係以外は何もなし。
125. 特別関係が無かった。
126. 荷物の入荷・出荷は大変でしたが、サミット自体はすごいことだと思う。
127. テレビ等で宣伝したけど効果が出ず、集客が増えていない。自社業界はサミットと関係が無い。

理由の具体的な内容

128. 津波情報がマスコミ等でよく報道されるので敬遠される。
 129. 他県から移住してくれるような何かを考えていかないと、若者たちは働く場所がないから、仕方が無いとあきらめている。
 130. ポストサミットの対策不足。

個別企業（自社）のサミット効果によるサミット前・後の売上への影響

A. 【対前月との比較（平成 28 年 5 月と平成 28 年 6 月の比較）】

●全体

「売上が増加」（“増加した”＋“やや増加した”）19.4%と「売上が減少」（“減少した”＋“やや減少した”）47.5%→「売上が減少」＋28.1 ポイント

地域別個別企業（自社）のサミット効果によるサミット前・後の売上への影響

●伊勢志摩サミットによる売上への「波及経済効果がなかった」順位の地域

浜島町-19.3 ポイント→志摩町-17.6 ポイント→大王町-15.6 ポイント→磯部町-15.5 ポイント→阿児町-11.4 ポイント

★伊勢志摩サミットの波及経済効果が最も大きかった阿児町も現実には売上減少となっている。

表 47 地域別個別企業のサミット効果によるサミット前、サミット後の売上への影響

地域名	回答数	増加した	少し増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
阿児町	194	4.1%	8.2%	56.7%	7.2%	16.5%	7.2%
大王町	71	2.8%	5.6%	66.2%	11.3%	12.7%	1.4%
志摩町	85	0.0%	7.1%	62.4%	9.4%	15.3%	5.9%
浜島町	36	2.8%	5.6%	58.3%	8.3%	19.4%	5.6%
磯部町	71	1.4%	5.6%	63.4%	4.2%	18.3%	7.0%
不明	8	12.5%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	12.5%
計	465	2.8%	6.9%	60.6%	7.7%	15.9%	6.0%

業種別個別企業（自社）のサミット効果によるサミット前・後の売上への影響

●「波及経済効果があった」業種は、「不明」＋25.0 ポイントのみ

「建設業」-4.3 ポイント、「製造業」-2.1 ポイント、「電気・ガス・熱供給・水道業」-30.8 ポイント、「情報通信業」-50.0 ポイント、「運輸業」-25.0 ポイント、「卸売・小売業」-21.6 ポイント、「金融・保険業」0 ポイント、「不動産業」-0.1 ポイント、「飲食店・宿泊業」-12.2 ポイント、「医療・福祉」-12.2 ポイント、「教育・学習支援業」0%ポイント、「その他」-20.3 ポイント）。

★“減少した”の 29.7%が最も大きい。

表 48 個別企業の業種別サミット効果によるサミット前、サミット後の売上への影響

業種	回答数	増加した	少し増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
建設業	70	4.3%	5.7%	71.4%	5.7%	8.6%	4.3%
製造業	47	4.3%	12.8%	61.7%	4.3%	14.9%	2.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	0.0%	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	12.5%	37.5%	12.5%	25.0%	12.5%
卸売・小売業	120	1.7%	7.5%	52.5%	7.5%	23.3%	7.5%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業	14	7.1%	7.1%	57.1%	14.3%	0.0%	14.3%
飲食店・宿泊業	74	5.4%	8.1%	56.8%	8.1%	17.6%	4.1%
医療・福祉	6	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%
教育・学習支援業	6	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	98	0.0%	4.1%	64.3%	7.1%	17.3%	7.1%
不明	4	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%
計	465	2.8%	6.9%	60.6%	7.7%	15.9%	6.0%

B. 【対前年との比較（平成 27 年 6 月と平成 28 年 6 月の比較）】

●全体

「売上が増加」8.8%－「売上が減少」25.8%＝－17.0 ポイント（売上が減少）

地域別個別企業（自社）のサミット効果によるサミット前・後の売上への影響

●伊勢志摩サミットによる売上への「波及経済効果がなかった」地域の順位

浜島町-30.6 ポイント→志摩町-22.4 ポイント→大王町-19.7 ポイント→磯部町-18.4 ポイント→阿児町-10.8 ポイント

表 49 地域別サミット効果によるサミット前、サミット後の個別企業の売上への影響

企業形態	回答数	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
阿児町	194	2.6%	9.3%	54.1%	7.2%	15.5%	11.3%
大王町	71	1.4%	8.5%	53.5%	21.1%	8.5%	7.0%
志摩町	85	0.0%	5.9%	56.5%	11.8%	16.5%	9.4%
浜島町	36	2.8%	0.0%	55.6%	16.7%	16.7%	8.3%
磯部町	71	0.0%	5.6%	54.9%	8.5%	15.5%	15.5%
不明	8	12.5%	0.0%	37.5%	25.0%	0.0%	25.0%
計	465	1.7%	7.1%	54.4%	11.4%	14.4%	11.0%

業種別企業（自社）のサミット効果によるサミット前・後の売上への影響

●伊勢志摩サミットによる売上への波及経済効果があった業種は皆無

「建設業」-4.3 ポイント、「製造業」-8.6 ポイント、「電気・ガス・熱供給・水道業」-53.9 ポイント、「情報通信業」-50.0 ポイント、「運輸業」-25.0 ポイント、「卸売・小売業」-21.7 ポイント、「金融・保険業」-100.0 ポイント、「不動産業」-64.2 ポイント、「飲食店・宿泊業」-12.2 ポイント、「医療・福祉」0 ポイント、「教育・学習支援業」0 ポイント、「その他」-16.3 ポイント、「不明」+25.0 ポイント）。

表 50 個別企業の業種別サミット効果によるサミット前、サミット後の売上への影響

企業形態	回答数	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	不明
建設業	70	2.9%	10.0%	62.9%	8.6%	8.6%	7.1%
製造業	47	2.1%	10.6%	51.1%	6.4%	14.9%	14.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.0%	0.0%	38.5%	46.2%	7.7%	7.7%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	12.5%	37.5%	12.5%	25.0%	12.5%
卸売・小売業	120	0.8%	7.5%	48.3%	10.8%	19.2%	13.3%
金融・保険業	3	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
不動産業	14	0.0%	0.0%	14.3%	57.1%	7.1%	21.4%
飲食店・宿泊業	74	4.1%	5.4%	60.8%	6.8%	14.9%	8.1%
医療・福祉	6	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%
教育・学習支援業	6	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	98	0.0%	6.1%	61.2%	7.1%	15.3%	10.2%
不明	4	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%
計	465	1.7%	7.1%	54.4%	11.4%	14.4%	11.0%

伊勢志摩サミット開催による今後の志摩市地域経済への影響

●全体

“どちらともいえない” 42.8%→“良い影響がある” 29.9%→“わからない” 11.4%→“不明” 6.20% →
“とても良い影響がある” 5.4%→“悪い影響がある” 2.4%→“とても悪い影響がある” 1.9%の順。

★「好影響」（“とても良い影響がある”＋“良い影響がある”）35.3%と「悪影響」（“とても悪い影響がある”＋“悪い影響がある”）4.3%→「好影響」＋31.0ポイント。

地域別伊勢志摩サミット開催による今後の志摩市地域経済への影響

●全地域が今後の伊勢志摩サミットによる「好影響」を期待している。

表 51 地区別の伊勢志摩サミット開催が今後の志摩市地域経済に与える影響

地域名	回答数	とても良い 影響がある	良い影響 がある	どちらとも いえない	悪い影響が ある	とても悪い影 響がある	わからない	不明
阿児町	194	7.2%	32.0%	44.3%	1.5%	1.0%	9.3%	4.6%
大王町	71	4.2%	29.6%	40.8%	5.6%	1.4%	15.5%	2.8%
志摩町	85	4.7%	30.6%	45.9%	1.2%	1.2%	10.6%	5.9%
浜島町	36	5.6%	22.2%	47.2%	0.0%	8.3%	8.3%	8.3%
磯部町	71	0.0%	29.6%	39.4%	2.8%	2.8%	15.5%	9.9%
不明	8	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	37.5%
計	465	5.4%	29.9%	42.8%	2.4%	1.9%	11.4%	6.2%

業種別伊勢志摩サミット開催による今後の志摩市地域経済への影響

●「好影響」＝期待度の大きい業種の順位

金融・保険業＋100.0ポイント→運輸業＋37.5ポイント→建設業＋37.2ポイント→その他＋
33.7ポイント→製造業＋31.9ポイント→飲食店・宿泊業＋31.0ポイント→不動産業及び医療・
福祉＋28.6ポイント→卸売・小売業＋25.8ポイント→教育・学習支援業＋16.7ポイント→電
気・ガス・熱供給・水道業及び情報通信業 0%。

★全ての業種が今後の伊勢志摩サミットの波及経済効果に期待している。

表 52 業種別の伊勢志摩サミット開催が、今後の志摩市地域経済に与える影響

業種	回答数	非常に良い 影響がある	良い影響 がある	どちらとも いえない	悪い影響 がある	非常に悪い 影響がある	わから ない	不明
建設業	70	4.3%	34.3%	47.1%	0.0%	1.4%	10.0%	2.9%
製造業	47	2.1%	36.2%	51.1%	4.3%	2.1%	2.1%	2.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	7.7%	0.0%	76.9%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
運輸業	8	0.0%	37.5%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
卸売・小売業	120	3.3%	26.7%	39.2%	1.7%	2.5%	18.3%	8.3%
金融・保険業	3	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業	14	7.1%	28.6%	42.9%	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%
飲食店・宿泊業	74	9.5%	27.0%	41.9%	4.1%	1.4%	9.5%	6.8%
医療・福祉	6	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
教育・学習支援業	6	16.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
その他	98	6.1%	31.6%	37.8%	2.0%	2.0%	13.3%	7.1%
不明	4	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
計	465	5.4%	29.9%	42.8%	2.4%	1.9%	11.4%	6.2%

“悪い影響がある”及び“非常に悪い影響がある”と回答した理由

●「悪影響」の自由回答：15件→現在の志摩市の経済状況が必ずしも良くないことから、将来に希望が持てないことの趣旨の回答が多くなっている。

表 53 “悪い影響がある”及び“非常に悪い影響がある”と回答した理由

理由の具体的内容
1. ろくでもない政治屋、行政屋のために消費にまで消費税をかけるのは、地方にとって致命的であろう。消費税と大規模小売店法で地域経済力は失われた。伊勢志摩サミットは地域経済に関係ない。 2. 良い影響もありますが、その後のPRや集客行動で悪い影響もです。 3. 良い影響があるように努力しなければいけない。 4. 道がよかったのはいいことだ。 5. 企業間に不平等が生じている。 6. 知名度が上がったが、何もいいことはない。 7. 他業種には良いのか？地元には何もない。 8. 全て人ごとのようなことです。 9. 自然を多く破壊したため、数年から10年先に影響が出てくる。 10. サミット後、近鉄が志摩市の宣伝を東京でしていると東京から来た人に聴きました。志摩市も全国的に宣伝して下さい。 11. 効果のあったのは観光だけでしょう。 12. 業種によって違う。 13. 賢島というだけで、混雑しそうなのでやめとくと良く言われる。 14. イベントの後の副作用。例えば、舗装もほぼ終わり、向こう5年間は仕事が減少、観光も同様で、ブームが終わると以前以下に落ち込む。 15. 一部の会社以外はマイナス。テレビは良いことばかり言っている。最悪です。

今後、志摩市役所・志摩市商工会等に、期待すること、期待したいこと等

●志摩市役所・志摩市商工会に今後へ期待すること、期待したいこと：126件→内訳は、志摩市市役所関係 62 件、志摩市商工会関係 36 件、共通事項が 30 件あった。特に厳しい意見としては、共通事項として、市役所にも商工会にも期待しないという意見である。

表 54 回答事業者の志摩市役所・志摩市商工会等に対する今後へ期待等

機関名	具体的な期待する内容
志摩市役所	1. I ターンとかリターンしたい人たちがもっと来られるようにアピールして欲しいです。都会からも住みたいという人がいると一杯耳にしますので手をさしのべて欲しい。人口が増えれば、消費も増え、商人も助かる。 2. 空き家対策、漁業後継者支援の実施。 3. 空き地が多いから企業を誘致すると良い。 4. あまり期待はしていません。県・市・商工会の地域での働きの力不足を感じています。 5. イベントをたくさん開催して欲しい。文化果つる所を盛り上げて欲しい。 6. 今から志摩市としての方向性が大事他と思う。観光業がサミット効果をうまく生かすように期待応援します。 7. 賢島や三重県志摩市阿児町鵜方だけでなく、志摩半島全体の活性化を願う。 8. 観光にもう少し力を入れて欲しい。 9. 観光の目玉が欲しい。 10. 行政改革の断行。 11. 近鉄電車でも鵜方・賢島への観光客を少々見受ける。一人でも多くと願う。サミット後、仕事中に浮いてに志摩のことを話すと聞いてくれる。そのため、志摩に来てくれるよう話している。 12. 金利が低い融資枠が欲しい。 13. 国や県にたよらず、志摩市が自ら改革や情報発信するよう、もっと市長中心にリーターシップを取って欲しい 14. 景気浮揚対策、人口増加対策をして欲しい。 15. 経済欲望を優先して環境を無視することは、良くない。たとえば、スーパーから合成洗剤をなくすくらいの思い切ったことをして欲しい。 16. 建設業・ホテル以外で若者が就職できる職場を増やして欲しい。 17. 県の水産研究部へ寝所専門研究者（県の人事ローテーションがない）を要望。 18. 公共事業の数を増やして欲しい。 19. 公共事業の積算単価を上げて欲しい。書類の提出を最小限に。 20. 高速道路を志摩市まで延長する。そして、志摩市から都市部へ魚介類・農産物を移出し、都市部から観光期役や企業を誘致する。志摩市の PR が足りない。県や民間企業と協力して予算をかけて、TV で全国放送する。「三重の伊勢志摩へ行こう」のCM等を。人が集まらないことには、景気は良くならない。サミットの時、トバされたが「鳥羽の目」を作ったりして発信力がすばらしかった。広報に優秀な職員を配置すべき。J A や J F と連携し志摩を発展させてもらいたい。 21. 子供が育てやすい環境、住んでいて楽しい環境を住民と一体となってつくれるように知恵を絞っていく。若い人たちが増えてくると活気も生まれる。 22. サミット開催を活かせる政策の実施。官民一体となって参加できる体制づくり。 23. サミット記念館以外で志摩市としてのアフターサミットの取り組みが見えない。 24. 観光・地域活性化にもう少し力を入れて欲しい。 25. サミット効果を是非未来につなげてもらいたい。 26. サミット後、このままの状態では駄目で、何かアクションを起こさなければ。 27. サミット後の動きをもう少しアピールして欲しい。人のあふれる志摩市を期待している。他県のピーアールを見習うべきである。私たちもできることなど協力できることはしていくつもりなので志摩市をよろしく願います。 28. サミットで観光地としての知名度は上がった。今後は、その施設をどう使っていくかが問題だと思う。もっと住民を増やすことを考えたらどうですか。お宝みたいな地域に有益な老人施設も多いと思います。交通の便も良いから、他県からの受け入れ等を考えてもいいと思います。 29. サミットで全国的・世界的には場所・名前などわかってもらえたような気がするが、もっとメディアやインターネット、SNS 等で継続的に知名度を上げていき、人を呼び込めるような面白い企画、この町に住みたいと思えるような演出をお願いします。人口が増えれば、物流もかわるだろうが、このまま人口が減少すれば景気が悪くなるのは当然だと思います。まず

機関名	具体的な期待する内容
	は人口を増やすことを考えて下さい。 30. 市外業者を優先するのではなく、市内業者を優先して欲しい。 31. 市が独自のアイディアを考え、また我々も必死にアイディアを考え、前進あるのみ。商いは誰も助けてくれないからがんばるのみ。 32. 市長は里海があたかも英虞湾をよくするように云っているが、英虞湾の一辺の水門の口を開けてもどれほどの効果があると思っているのか。大口市長は金に絡んだ疑惑ばかり、越賀の海女小屋、道の駅、浜島病院の後のこと、関係者はやめるから責任がないのか、そうではない。万引きを見つかって、お金を払えば責任が無いと思うのか。議会もどうかしている。議員も悪い人ばかりの志摩市である。 33. 自動車に乗れない者は移動が大変です。楽しい町になって欲しい。 34. 市の人口を増やして欲しいのと、個人事業者へのフォローアップをして欲しい。 35. 市の政策が行政中心のため、まちの人口が減ってきている。 36. 市の利子補給など行政とのつながりを仲介して欲しい。 37. 志摩市の「骨」「肉」「血」を作るため（再認識するため）、「脳」「神経系」「腸内フローラ」も忘れないように。 38. 志摩市はインバウンド対策に遅れている。一層の努力を。 39. 志摩市は近鉄で関西・東海と結ばれているが志摩市の人たちは観光客に対するおもてなしが悪いと思います。海関係の人はどうしても相手に対して会話が悪いです。 40. 志摩市への大企業の誘致に期待する。 41. 地元に企業誘致を活発に行い、人口減少に歯止めをかけて欲しい。 42. 市役所は情報公開や職員を減らす。給料を下げる仕事をもっとさせる。議員報酬を下げる。市役所を廃止して、民間に委託すること。 43. 人口減少、とくに県外への人口流出にともなう各地場産業の先細りを食い止め、若者が定住できる産業の確立と誘致。法人税の減税による企業誘致、外国人観光客誘致の市役所職員による各国への働きかけ。 44. 人口減少の歯止めにつくる。人口減少→企業移転→人口減少と云った負のスパイラルになっている。弊社も本社移転または住居の移転を考えており、土地も捜している。税金に見合う行政サービスがない。 45. 人口減少は仕方が無いが、そういう所を見放さないで欲しい。 46. スペイン村ができた頃の賑わいが欲しい。 47. それぞれの地域にあったPRをして欲しい。 48. 他県から来観光客に「志摩はなににもないところだ」と云われた。志摩市といえば、この場所があるというような「この場所に行ってください」という所を作っていく必要がある。 49. 地域の企業の中には良い方向に進んでいる企業もある。金融機関、自治体などの支援があればさらに増進できる。今の状況は縮小へ、企業間の協調と金融がもう少し前向きになれば、今のままでは労働者不足と仕様非減退へ、地域企業は減じる。 50. 文化的な面でお客を呼ぶ方法を考えてもらいたい。食べるものだけでは集客は難しい。 51. ホームページに無料でリンクして欲しい。 52. 補助金などを捜して、介護事業に携わる人の給料を上げて欲しい。 53. 町ごとのイベントではなく、市全体のイベントを。 54. 若い人の雇用の場の確保、魅力有るまちづくりを期待する。 55. 若い人は都会が良い。何か対策があると思うが期待しない。 56. 若者が地元で子供が育てられるように、企業の誘致や外部からの移住者が増えるような元気な市になるように期待したい。 57. 若者がどうすれば増えるのかももっとしっかり考え行動して欲しい。志摩市役所はそのあたりの意識が特に低いように感じる。 58. 若者が根付く産業の誘致。里海って何の効果があるの？一部の業者だけでしょ!! 59. 若者が働ける企業誘致。 60. 若者の住みやすい町。子育てのしやすい環境を作って欲しい。もっと魅力ある志摩市にして欲しい。 61. 若者の流出を防ぐため、知恵と工夫で、若者の流出が防げるような新しい産業を育成し、情報発信をして欲しい。 62. 新しいエネルギーの開発。
志摩市商工会	1. 阿児町内は観光のまちと言うイメージが少ないと思います。 2. あまり期待はしていません。県・市・商工会の地域での働きの方不足を感じています。 3. 以前と同様に仕事が続けられるよう調整して欲しい。 4. いつもありがとう。

機関名	具体的な期待する内容
	5. イベント・商談会の結果を公表して欲しい。 6. イベントの開催。中小企業に対する金融支援。 7. 今で十分、それ以上期待しない。 8. 零細業者にいろいろとアドバイスして下さい。 9. 大手や法人を主に対象として企画を進めることが多いので個人事業者にも目を向けて欲しい。 10. 海産物・農産物の加工品化に取り組んで欲しい。 11. 合併前と比較すると商工会事務局員と会員の交流が非常に少なくなった。 12. 期待するサービスの使い方がわからない(手段がわからない)ので指導して欲しい。 13. 客数がへったため、子供たち相手では到底店の存続は無理。しかし、学校からは是非続けて欲しいと要望があり、営業を続けています。何か営業を継続させる良い方法はないでしょうか。 14. 金融・確定申告等、多くのことで助言と指導をいただいている。もっと志摩町支部の働きに力を集中して欲しい。 15. 月報は毎月参考にさせていただいています。いろいろ相談にも応じてくれているので、これ以上職員を減らさないで下さい。 16. 借金の個人保証の撤廃をして欲しい。 17. 商工会があると安心できる。 18. 商工会に何を言っても無駄。会費を上げないで欲しい。 19. 商工会の経営指導には感謝します。 20. 商工会の催しにボランティアで出ることが多い。自社の売上げが下がっているのに本来の仕事をして欲しい。 21. 商工会はがんばって会員に指導・情報・笑顔を下さい。 22. 商工の商に対しては良いのですが、工に対しては期待できない。跡取りががんばれる地域にして欲しい。 23. 知名度は上がったが、観光に代わる産業育成に努力しなければ志摩市の未来はない。商工会もこの地域の医療・福祉・教育事業に目を向け、100年先とは云わないが30年先の未来を考え活動して欲しい。 24. 長期的なプラン(3・5・10・15・20年後)を考えてから、短期プランの作成をお願いします。職員や指導員のレベルアップと民間企業への研修等のプログラムも今後は必要だと思います。 28. 挑戦する人をバックアップする体制をしっかりと作って欲しい。 29. 低利息でお金を貸して下さい。 30. 無駄に冊子を作らなくても良い。そのために会費を支払っていない。帳簿以外は商工会とつながりがない。商工会は鶏方だけの店だけで田舎はあまり歓迎されない。帳簿代も支払ったうえに、青色申告の時も支払って、商工会への支払いが多いですね。 31. もっと地区の小さいイベントにも商工会は参加して欲しい。 32. 零細企業にも力を入れて欲しい。 33. 老朽化している店舗での経営は大変難しい 34. 私は飲食店を経営している。私は30年間商工会会員でしたが、5年前にやめました。サミットの弁当は商工会会員の飲食店で作ったようですが、大きなイベントの時は、飲食店の私にも話があってもいいと思いませんか。商工会会員だけで無く、志摩市の人の方が良くなるように考えられませんか？残念です。 34. 現在、飲食店は志摩では斜陽産業となりつつある。また若者がいない。これから考えなければならないことは、老人ばかりになると宿泊施設に朝ご飯、夕飯がついている施設に宿泊するので、残りの昼飯をどのように地域に還元するのが問題となる。たとえば、ホテルと自営の飲食店とのコラボとかセット旅行券とかで課金が出ていく。
両機関共通	1. 期待することは特にない。期待できないから自助努力するのみ。 2. 期待することは何もない。 3. 期待することは何もない。 4. 何も期待していません。 5. 何も期待しない。 6. 何も期待しない。期待するだけ無駄。 7. 何も期待できないし、期待もしていない。 8. 期待するだけ疲れる。 9. 期待なしというか期待できない。 10. 期待できるような職員が出てきて欲しい。

機関名	具体的な期待する内容
	11. 店舗の減少、シャッター通りが目につくが、市にも商工会にもあまり期待はしていない。 12. 伊勢神宮の周辺は毎日大勢の観光客で賑わっている。しかし、その観光客が志摩市までの足が遠のいている。伊勢道路の改良を県ではなく、市・商工会・観光協会が中心になって促進して欲しい。 13. イベントなどを増やして欲しい。 14. 耕作放棄地ばかりで、何か産業を興せないものか。 15. サミット後の今こそ、自治体や商工会の本領発揮、大胆な斬新な実行力が必要。弊社の現業種からリーズナブルなリゾート開発、地域と一体となり、地場産業とコラボしての新しい事業展開を企画中です。 16. 支援事業の増加。 17. 事業者、顧客が生活しやすく、働きやすい環境を創造してほしい(資金や税でのバックアップ等)。 18. 地場産業の真珠養殖、漁業等の不景気と後継者不足。Uターン型・高齢者(60歳以上)の働く意欲のある人たちの仕事がない。災害(地震)特に津波、安心して逃げる安全な高台がない。 19. 地場産業の低迷及び人口減少による全業種の減少を食い止める政策を打ち出す。地域産業の活性化を市民がともに行う。 20. 地場産業の発展にもっと協力して欲しい。 21. 志摩市を繁栄させるためにも、県・市・商工会が一丸となって積極的な攻めの営業展開を期待しています。 22. 志摩町にもっと目を向けて下さい。 23. 志摩町のほうをもっと盛り上げて欲しい。 24. 農産物の販売所を作って欲しい。 25. 人出が増える試みを考えて下さい。 26. 客数が減った。賑わいを考えて欲しい。 27. 人がいないため、客がない。 28. 平成に入って長期の不況で若者を育てる環境を作ってこなかった。商工会には人と人を繋ぐ役割のイベントを活発に、特にお客と地元の人に対して。市は里海の意義をもっと全市に広めて欲しい。県には、一次産業の人がオレンジの自由化の二の舞にならぬ方策を期待、また市内の風景が変わらないことを望みます。 29. メディア等へ志摩のPRを働きかけて欲しい。 30. もっと宣伝して欲しい。
計	126 件

まとめ

以上の調査の結果、志摩市に立地する小規模事業者は、「人口減少により顧客の減少」「仕入単価の上昇」及び「販売単価の低下」といった環境変化により、どの業種の企業も「売上動向(需要動向)」は悪くなり、伊勢志摩サミット開催後も、景気は回復していない。現状のままでは、一部の企業を除いた他の多くの企業が自らの「売上」を減少させ、また「事業の将来性」が見いだせず、最悪は廃業に至ることで、志摩市地域経済の衰退につながっていくものと推測できる。

このことは、志摩市商工会管内の小規模事業者の多くは、地域内需要型(地域密着型)企業であることである。にもかかわらず、それら小規模事業者は、人口減少と高齢化及び若者の流出及び自治体の財政危機からの公共事業の縮減による需要不足や大型量販店や全国チェーン店の進出による顧客の減少というマイナス環境から脱するため、移住者の促進や集客につながるイベント等の開催、観光開発、企業誘致などにより、需要の維持・拡大を多くの事業者は期待している。しかし、これらにより景気回復が短期的に実現することが困難であることは、たとえば多くの小規模事業者にとって、伊勢志摩サミットが期待外れに終わったことから証明している。また、経済のグローバル化の進展により、競争優位の観点から、志摩市地域に企業が立地することよりも、企業の海外進出が一層進むであろう。

このことから、需要拡大を外部環境の変化のみに求めるのではなく、自らの企業経営の近代化や顧客ニーズに適応した商品開発・販売などの顧客志向・参加型マーケティングの導入を図る必要があらう。現状は、経営計画をもとに、中期的な経営を行っていく近代的経営や顧客志向・顧客参加型のマ

マーケティングは、多くの小規模事業者、とくに個人企業では導入されていないと思われる。この意味でも、商工会による伴走型支援により、小規模事業者の経営の近代化や顧客志向のマーケティングの導入が喫緊の課題となろう。このためには、志摩市商工会のPDCAサイクルを導入した近代的経営と商工会職員の資質の向上が不可欠であろう。さらに、大規模販売店や飲食・食品販売チェーン店及びコンビニ等に対抗するためには、官民学及び住民が連携し志摩文化に基づく、志摩地域独自の「ライフスタイル」を確立することで、地元小規模事業者等の企業に新たな需要を創出することも重要であろう。